

2020年度

全国学校保健調査集計結果報告

公益社団法人 日本薬剤師会
学 校 薬 剤 師 部 会
全 国 学 校 保 健 調 査 W G

2020年度

全国学校保健調査集計結果報告

(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会

—— 全国学校保健調査WG ——

I. はじめに

全国学校保健調査は、全国の学校における環境衛生活動の実情を把握し、その充実や改善に役立てる目的で昭和46年から毎年調査項目を選定し実施されている。2020年度（令和2年度）の全国学校保健調査では、2019年度（令和元年度）の各学校における「学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示60号）」に基づいた換気に関する定期検査等について質問した。また、平成25年度から基本データの続きとして、同じ設問を継続して質問しているが、今年度は、「当該校の1年間の報酬について」を新たに追加した。

なお、この集計結果のグラフでは、サンプル数「n」を記載するようにした。

II. 調査方法及び調査対象

調査対象は、全国の大学以外全ての学校とし、中高一貫校・小中併設校等を適切に処理しそれぞれ1校とした。

調査票（表2-1及び2-2）は、各都道府県薬剤師会等を通じて各学校に配付した。調査票の記入は、原則として担当学校薬剤師が行い、担当学校薬剤師が記入できない場合は、各学校に協力を求めた。

調査票は、各都道府県薬剤師会等を通じて回収し、(公社)日本薬剤師会学校薬剤師部会の広報WGが集計し、結果をとりまとめた。

全国の大学以外のすべての学校（認定こども園を含む）は51,942校ある。これらの学校のうち、回答のあった33,986校から、学校の種類等の基本データの欠落及び予備で返却された未入

力のシートによる集計不能を除いた33,904校を対象に集計を行った。

集計結果は、各設問における有効回答数に対する百分率で示し、少数点以下2桁目を四捨五入した。

今年度から、学校種別での集計のうち、件数の少ない「義務教育学校・中等教育学校・高等専門学校」については、校種別の解説部分で、対象から外して解説しているので、予めご了承ください。

表1 学校設置数、有効回答数及び回答率（学校種別・学校設置区分）

	有効回答数 (設置数*)	学校設置区分				回答率(%)
		国立	公立	私立(組合立)	合計	
学 校 種 別	認定こども園	0 (0)	722 (834)	1,999 (5,013)	2,727 (5,847)	46.5
	幼稚園	34 (49)	1,958 (3,251)	455 (6,398)	2,447 (9,698)	25.2
	小学校	68 (68)	16,077 (19,217)	87 (240)	16,232 (19,525)	83.1
	中学校	50 (69)	7,697 (9,291)	171 (782)	7,918 (10,142)	78.1
	義務教育学校	2 (4)	74 (121)	0 (1)	76 (126)	60.3
	全日制高等学校	8 (15)	2,709 (3,369)	368 (1,318)	3,085 (4,702)	65.6
	中等教育学校	2 (4)	28 (33)	9 (19)	39 (56)	69.6
	定時制高等学校	0 (0)	411 (613)	10 (27)	421 (640)	65.8
	特別支援学校	28 (45)	907 (1,090)	3 (14)	938 (1,149)	81.6
	高等専門学校	27 (51)	0 (3)	0 (3)	27 (57)	47.4
	合計	219 (305)	30,583 (37,822)	3,102 (13,815)	33,904 (51,942)	65.3
	回答率(%)	71.8	80.9	22.5	65.3	

*令和2年度学校基本調査報告書（文部科学省）

「全日制高等学校」は全日制＋併置（全日制と定時制の両方の課程を設置している学校）、「定時制高等学校」は定時制と併置を合わせた数値から算出

表2-1

2020年度全国学校保健調査
(2019年4月～2020年3月までの活動報告)
～2019年度の換気に関する定期検査等～

コピー不可

公益社団法人日本薬剤師会・学校薬剤師部会

記入・取扱上の注意	1. 学校薬剤師が記入する調査です。不明な点は学校に確認してください。 2. 記入は必ずH Bの黒鉛筆で正確に塗りつぶしてください。 3. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。 4. 用紙を汚したり、折り曲げたり、穴を開けたりしないでください。 5. 用紙をクリップやホチキスで留めないでください。	記入例	良い例 ● 悪い例 ● ○ ✕ ◉
-----------	--	-----	----------------------

学校名	正式名で記入 (ゴム印が望ましい)	児童生徒数	人
所在地			
学校教職員の職名及び氏名			
学校薬剤師氏名		調査年月日	2020年 月 日

＊基本データ（漏れなくマークしてください。マーク漏れがあると集計より除外されます。）

A	学校設置区分 ① 国立 ② 公立 ③ 私立（組合立を含む。）
B	学校の種類 ① 認定こども園 ② 幼稚園 ③ 小学校 ④ 中学校 ⑤ 義務教育学校 ⑥ 全日制高等学校 ⑦ 中等教育学校 ⑧ 定時制高等学校 ⑨ 特別支援学校 ⑩ 高等専門学校
C	児童生徒数 ① 50人未満 ② 50人以上300人未満 ③ 300人以上500人未満 ④ 500人以上
D	全国地方公共団体コード 十の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 万の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 千の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 百の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 十の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 一の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ (ゼロも必ずマークしてください)

＊基本データ（続き）

1-1	年齢は何歳代ですか。 ① 20歳代 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代 ⑤ 60歳代 ⑥ 70歳代 ⑦ 80歳代以上
1-2	日本薬剤師会の会員ですか。 ① はい ② いいえ
1-3	本務の職場はどこですか。 ① 薬局（開設者） ② 薬局（勤務者） ③ 病院・診療所 ④ 卸 ⑤ 行政 ⑥ 製造管理 ⑦ 検査機関 ⑧ 学校（教職員） ⑨ 無職 ⑩ その他
1-4	学校保健計画の作成にあたり、学校から確認要請がありましたか。 ① あった ② なかった
1-5	学校保健計画に学校環境衛生検査の記載がありましたか。 ① 全ての項目について記載があった ② 一部の検査項目しか記載がなかった ③ まったく記載がなかった ④ わからない
1-6	1-5で②及び③に印をつけた人にお聞きします。一部又は全部の検査項目の記載がないことについて問い合わせはしましたか。 ① した ② しなかった
1-7	学校環境衛生検査は、学校環境衛生基準に定められた全項目を実施しましたか。 ① 全ての項目を実施した(省略規定で省略した場合も含む) ② 一部実施できなかった項目があった ③ まったく実施していない
1-8	1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。全項目実施できなかった理由は何ですか。（複数回答可） ① 器具が足りない ② 予算が足りない ③ 計画がなかった ④ 時間の都合がつかなかった ⑤ その他
1-9	1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。実施できていない項目の実施を要望しましたか。 ① 要望した ② 要望しなかった
1-10	学校環境衛生検査の結果を校長等管理職に直接報告しましたか。 ① 毎回した ② 時々した ③ 一度もしなかった
1-11	学校保健委員会への出席要請がありましたか。 ① あった ② なかった
1-12	2019年度における出校日数は何日ですか。（メール、電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む） (一の位、十の位のゼロも必ずマークしてください) →（0日数の方はAの設問へ） 十の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 一の位 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
1-13	出校した人にお聞きします。出校目的は何ですか。（複数回答可） ① 定期検査 ② 臨時検査 ③ 学校保健委員会への参画 ④ 保健教育に関する講話・講演及び支援 ⑤ その他

（裏面にも回答欄があります）

表2-2

1-14	2019年度における当該校の1年間の報酬は、いくらでしたか。(一万円単位。千円以下切り捨て) ★支給額(税込み) 交通費は除く。 (万の位、十万の位のゼロも必ずマークしてください) *複数校で不明な場合は、平均金額	十万の位	⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		万の位	⑩	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

A. 2019年度における換気（二酸化炭素）、温度、相対湿度の定期検査の実施状況についてお聞きします。

A-1	換気（二酸化炭素）の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（A-3の設問へ）
A-2	主にどのような測定器を用いて行いましたか。 ① 検知器（検知管） ② 非分散型赤外線ガス分析計（NDIR） ③ その他（不明も含む）
A-3	温度の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（A-5の設問へ）
A-4	主にどのような測定器を用いて行いましたか。 ① 0.5度目盛の温度計（デジタル表示） ② 0.5度目盛の温度計（非デジタル表示） ③ その他（不明も含む）
A-5	相対湿度の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（Bの設問へ）
A-6	主にどのような測定器を用いて行いましたか。 ① 0.5度目盛の乾湿球湿度計（デジタル表示） ② 0.5度目盛の乾湿球湿度計（非デジタル表示） ③ その他（不明も含む）

B. 2019年度における浮遊粉じん、気流の定期検査の実施状況についてお聞きします。

B-1	温度、湿度又は流量を調節する設備を使用している場合は、浮遊粉じんと気流の定期検査を行わなくてはならないことを知っていますか。 ① 知っている ② 知らなかった
B-2	浮遊粉じんの検査の結果が著しく基準値を下回る場合は、次回から検査を省略することができることを知っていますか。 ① 知っている ② 知らなかった
B-3	温度、湿度又は流量を調節する設備を使用していますか。（注：ファンヒーターも含まれます） ① 使用している ② 使用していない（Cの設問へ）
B-4	浮遊粉じんの検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 省略規定により行わなかった ④ 行わなかった（B-6の設問へ）
B-5	浮遊粉じんの検査は、主にどのような方法で行いましたか。 ① 質量による方法（Low-Volume Air Sampler法） ② 相対濃度計（デジタル粉じん計による方法） ③ その他（不明も含む）
B-6	気流の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（Cの設問へ）
B-7	気流の検査は、主にどのような方法で行いましたか。 ① カタ温度計 ② 微風速計 ③ その他（不明も含む）

C. 2019年度における一酸化炭素、二酸化窒素の定期検査の実施状況についてお聞きします。

C-1	燃焼器具を使用していますか。 ① 使用している ② 使用していない（Dの設問へ）
C-2	一酸化炭素の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（C-4の設問へ）
C-3	主にどのような方法で行いましたか。 ① 検知管法 ② 非分散型赤外線吸収法 ③ 定電位電解法 ④ 水素炎イオン化検出法(FID) ⑤ 接触燃焼法 ⑥ その他(不明も含む)
C-4	二酸化窒素の検査を何回行いましたか。 ① 2回以上行った ② 1回行った ③ 行わなかった（Dの設問へ）
C-5	主にどのような方法で行いましたか。 ① ザルツマン法 ② 化学発光法 ③ 試験紙光電光度法 ④ 検知管法 ⑤ その他（不明も含む）

D. 2019年度における教室の環境検査（上記A、B、Cで設問した項目）を行った学校にお聞きします。

★全部行っていない場合は、Eの設問へ

D-1	以下の項目で、不適合項目はありましたか。(複数回答可) ① 二酸化炭素 ② 温度 ③ 相対湿度 ④ 浮遊粉じん ⑤ 気流 ⑥ 一酸化炭素 ⑦ 二酸化窒素 ⑧ 不適合なし（D-4の設問へ）
D-2	不適合項目について、指導・助言を行いましたか。 ① 全て行った ② 一部行った ③ 行わなかった（D-4の設問へ）
D-3	指導・助言によって改善しましたか。 ① 全て改善した ② 一部改善した ③ 改善しなかった ④ わからない
D-4	本校で検査結果の記録を保存していましたか。(基準：5年間保存) ① 全て保存していた ② 一部保存していた ③ 保存していなかった

E. 2019年度における教室等の環境の日常点検の実施状況について、全ての学校にお聞きします。

E-1	以下の項目について点検を行いましたか。(複数回答可) ① 不快な刺激や臭気の有無 ② 換気の実施状況 ③ 温度 ④ 行わなかった（終了です）
E-2	本校で日常点検結果の記録を保存していましたか。(基準：3年間保存するよう努める) ① 全て保存していた ② 一部保存していた ③ 保存していない

ご協力ありがとうございました。

表3 都道府県別有効回答数

	認定こども園	幼稚園	小学校	中学校	義務教育学校	全日制高等学校	中等教育学校	定時制高等学校	特別支援学校	高等専門学校	合計
北海道	49	62	463	266	2	106	1	6	46	2	1,003
青森	147	23	240	141	0	65	1	6	20	1	644
岩手	0	33	290	144	1	65	0	9	17	1	560
宮城	17	41	299	163	0	68	2	5	22	1	618
秋田	56	16	189	109	1	52	0	7	14	1	445
山形	47	23	209	83	0	45	0	4	15	1	427
福島	0	0	381	201	3	71	0	9	23	0	688
茨城	85	94	372	167	7	86	4	7	22	1	845
栃木	45	18	335	150	3	58	1	5	16	1	632
群馬	39	40	279	141	0	58	2	8	27	0	594
埼玉	27	106	775	401	1	134	1	23	44	0	1,512
千葉	35	48	670	326	2	117	0	7	40	1	1,246
東京	19	111	1,157	568	5	134	6	39	39	0	2,078
神奈川	33	17	744	354	1	121	2	22	35	0	1,329
新潟	104	33	377	181	2	74	6	9	28	1	815
富山	49	13	165	74	0	37	0	3	15	1	357
石川	93	7	169	66	2	40	0	4	11	1	393
福井	52	9	167	62	1	22	0	5	10	0	328
山梨	18	6	107	57	0	25	0	2	7	0	222
長野	26	9	344	178	1	87	1	11	21	1	679
岐阜	54	67	332	167	2	69	0	6	21	1	719
静岡	139	140	466	270	1	116	0	13	32	1	1,178
愛知	40	55	926	396	1	139	0	34	36	1	1,628
三重	33	113	307	138	1	61	1	8	17	1	680
滋賀	64	81	156	70	0	31	0	3	8	0	413
京都	30	48	288	137	2	59	0	12	23	1	600
大阪	176	199	931	439	4	163	0	21	35	0	1,968
兵庫	373	256	669	306	4	139	3	20	36	0	1,806
奈良	41	95	172	89	4	28	1	4	10	1	445
和歌山	29	26	194	97	1	30	0	5	11	0	393
鳥取	27	6	108	51	1	29	0	4	11	1	238
島根	5	38	120	56	1	22	0	3	13	0	258
岡山	61	111	244	97	0	37	2	7	9	0	568
広島	73	46	375	179	4	65	1	8	11	0	762
山口	24	24	267	143	0	70	1	8	16	1	554
徳島	27	47	130	69	0	20	0	1	7	0	301
香川	48	62	119	57	0	25	0	2	5	1	319
愛媛	11	11	142	66	0	25	1	2	7	0	265
高知	3	7	86	50	1	22	0	7	7	0	183
福岡	11	16	694	318	3	105	1	19	35	1	1,203
佐賀	59	32	148	84	4	36	0	7	10	0	380
長崎	48	18	291	159	1	56	0	11	24	1	609
熊本	70	31	331	164	2	72	0	8	22	0	700
大分	21	50	178	81	1	30	0	2	11	1	375
宮崎	159	15	231	128	0	42	1	5	16	1	598
鹿児島	93	73	403	171	6	69	0	1	15	0	831
沖縄	61	71	192	104	0	60	0	9	18	0	515
合計	2,721	2,447	16,232	7,918	76	3,085	39	421	938	27	33,904

Ⅲ．集計結果及び考察

1－1 年齢は何歳代ですか。

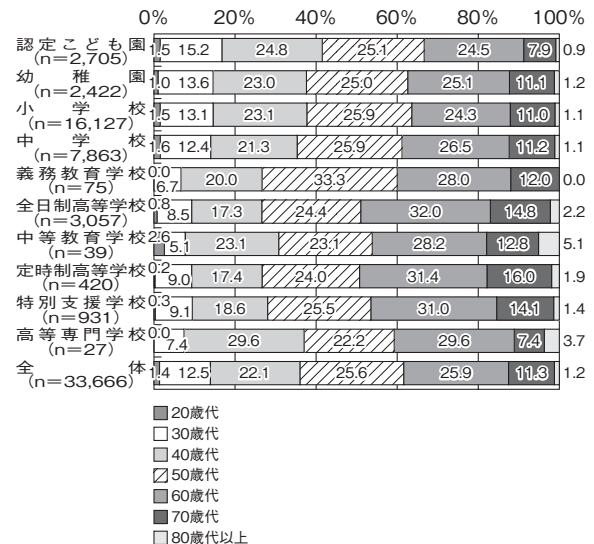
20歳代1.4%、30歳代12.5%、40歳代22.1%、50歳代25.6%、60歳代25.9%、70歳代11.3%、80歳代以上1.2%であった。

学校種別では、大部分をしめる小学校、中学校で比較してみても、小学校では「60代」24.3%、「50代」25.9%、「40代」23.1%、中学校は「60代」26.5%、「50代」25.9%、「40代」21.3%と全体の年代別と比較しても数値に大きな差はなかった。

都道府県別では、「20歳代」で高かったのは、高知県4.9%、岩手県4.5%、岡山県4.2%、「80歳代以上」で高かったのは、群馬県4.6%、宮城県3.9%、徳島県3.7%であった。

*都道府県別データは36ページ参照

1－1 年齢は何歳代ですか。



1－2 日本薬剤師会の会員ですか

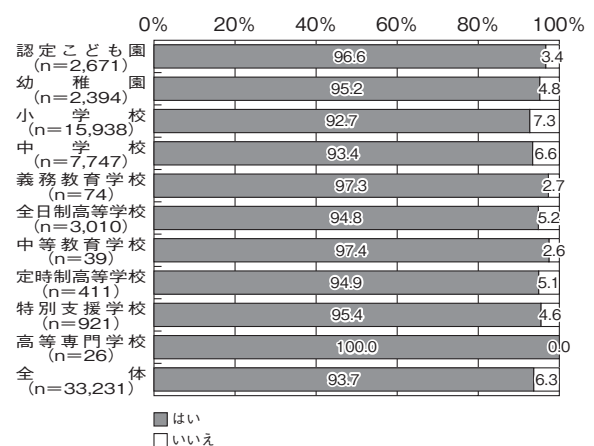
全体では学校薬剤師に従事している薬剤師のうち、「日本薬剤師会の会員」93.7%、「日本薬剤師会の会員外」6.3%であった。

学校種別では、認定こども園96.6%、幼稚園95.2%、小学校92.7%、中学校93.4%、全日制高等学校94.8%、定時制高等学校94.9%、特別支援学校95.4%と、学校薬剤師の殆どが本会の会員であった。

都道府県別では、「日本薬剤師会の会員」で高かったのは、秋田県、山梨県、奈良県、和歌山県、鳥取県、山口県100%、「日本薬剤師会の会員外」で高かったのは、神奈川県24.7%、埼玉県17.6%、滋賀県16.5%であった。

*都道府県別データは36ページ参照

1－2 日本薬剤師会の会員ですか。



1-3 学校薬剤師の本務の職場について

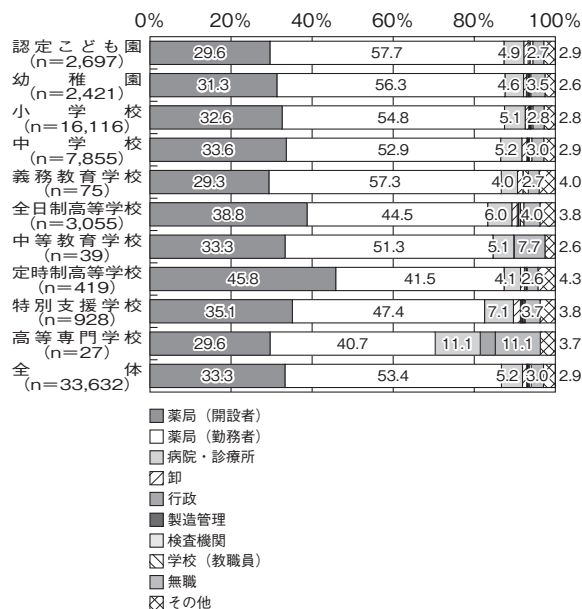
学校薬剤師の本務の職場は、薬局（開設者）33.3%、薬局（勤務者）53.4%、病院・診療所5.2%、卸1.0%、行政0.1%、製造管理0.2%、検査機関0.2%、学校（教職員）0.5%、無職3.0%、その他2.9%で薬局関係者が全体の86.7%を占めていた。

学校種別では、定時制高等学校では薬局（開設者）の割合が45.8%で最も高かったが、他の校種ではすべて薬局（勤務者）の割合が最も高かった。

都道府県別では、薬局（開設者）で高かったのは、山梨県58.1%、岐阜県45.1%、愛知県44.5%、薬局（勤務者）で高かったのは、滋賀県68.8%、鳥取県65.3%、新潟県64.5%であった。

* 都道府県別データは37ページ参照

1-3 本務の職場はどこですか。



1-4 学校保健計画の作成にあたり、学校から確認要請がありましたか

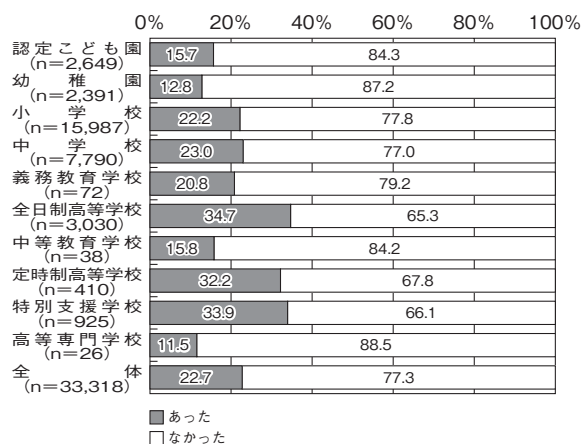
「あった」22.7%、「なかった」77.3%であった。

学校種別で、「あった」で高かったのは、全日制高等学校34.7%、特別支援学校33.9%、定時制高等学校32.2%、「なかった」で高かったのは、幼稚園87.2%、認定こども園84.3%、小学校77.8%であった。

都道府県別では、「あった」で高かったのは、岐阜県68.1%、沖縄県46.8%、鹿児島県37.1%、「なかった」で高かったのは、福岡県90.9%、北海道90.7%、和歌山県90.3%であった。

* 都道府県別データは37ページ参照

1-4 学校保健計画の作成にあたり、学校から確認要請がありましたか。



1-5 学校保健計画に学校環境衛生検査の記載がありましたか

「全ての検査項目について記載があった」38.7%、「一部の検査項目しか記載がなかった」24.2%、「まったく記載がなかった」1.6%、「わからない」35.5%であった。

学校種別では、「全ての検査項目について記載があった」で高かったのは、特別支援学校49.0%、全日制高等学校47.5%、定時制高等学校43.8%、「一部の検査項目しか記載がなかった」で高かったのは、全日制高等学校27.9%、定時制高等学校27.6%、特別支援学校27.0%、「まったく記載がなかった」で高かったのは、幼稚園4.1%、認定こども園3.9%、小学校及び中学校が1.3%、「わからない」で高かったのは、幼稚園57.1%、認定こども園54.4%、小学校33.6%であった。

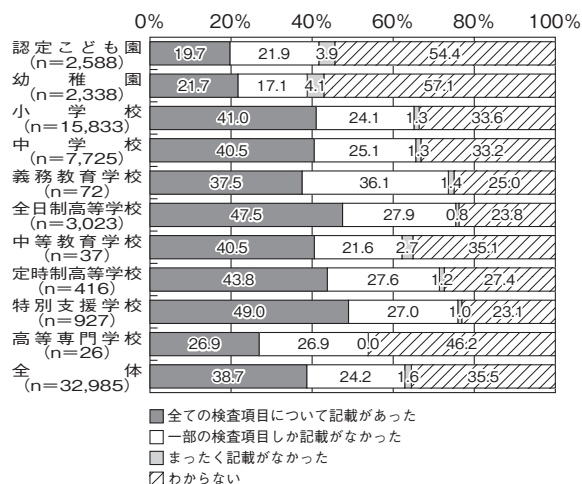
都道府県別では、「全ての検査項目について記載があった」で高かったのは、岐阜県66.7%、愛知県63.3%、宮城県60.8%、「一部の検査項目しか記載がなかった」で高かったのは、沖縄県50.4%、福島県49.7%、宮崎県47.1%、「まったく記載がなかった」で高かったのは、富山県5.8%、群馬県3.7%、島根県3.5%、「わからない」で高かったのは、高知県68.2%、北海道61.5%、和歌山県58.6%であった。

*都道府県別データは38ページ参照

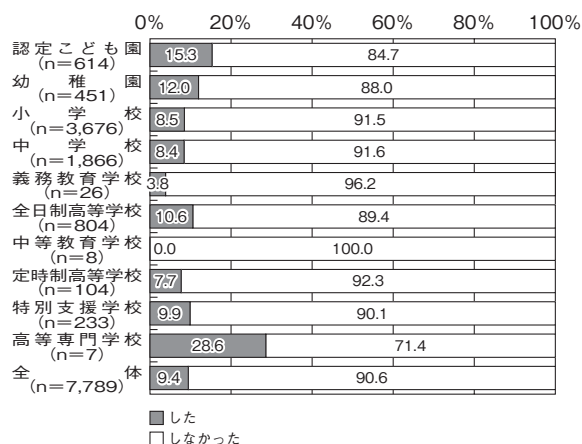
1-6 1-5で②及び③に印をつけた人にお聞きします。一部又は全部の検査項目の記載がないことについて問合せはしましたか。

「した」9.4%、「しなかった」90.6%であった。

1-5 学校保健計画に学校環境衛生検査の記載がありましたか。



1-6 1-5で②及び③に印をつけた人にお聞きします。一部又は全部の検査項目の記載がないことについて問合せはしましたか。



学校種別では、「問合せした」で高かったのは、認定こども園15.3%、幼稚園12.0%、全日制高等学校10.6%、「問合せしなかった」で高かったのは、定時制高等学校92.3%、中学校91.6%、小学校91.5%であった。

都道府県別では、「問合せした」で高かったのは、愛媛県23.1%、高知県20.7%、石川県及び和歌山県が20.0%、「問合せしなかった」で高かったのは、青森県97.1%、福島県96.7%、長崎県96.4%であった。

＊都道府県別データは38ページ参照

1-7 学校環境衛生検査は、学校環境衛生基準に定められた全項目を実施しましたか。

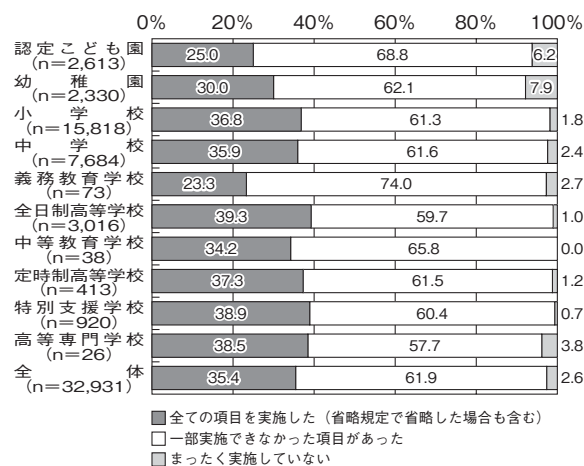
「全ての検査項目を実施した（省略規定で省略した場合も含む）」35.4%、「一部実施できなかった項目があった」61.9%、「まったく実施していない」2.6%であった。

学校種別では、「全ての項目を実施した」で高かったのは、全日制高等学校39.3%、特別支援学校38.9%、定時制高等学校37.3%、「一部実施できなかった項目があった」で高かったのは、認定こども園68.8%、幼稚園62.1%、中学校61.6%、「まったく実施していない」で高かったのは、幼稚園7.9%、認定こども園6.2%、中学校2.4%であった。

都道府県別では、「全ての検査を実施した」で高かったのは、愛知県68.4%、神奈川県63.5%、奈良県57.3%、「一部実施できなかった項目があった」で高かったのは、宮崎県89.7%、鳥取県85.0%、和歌山県83.8%、「まったく実施していない」で高かったのは、群馬県14.9%、佐賀県13.0%、島根県10.7%であった。

＊都道府県別データは39ページ参照

1-7 学校環境衛生検査は、学校環境衛生基準に定められた全項目を実施しましたか。



1-8 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。全項目実施できなかった理由は何ですか。

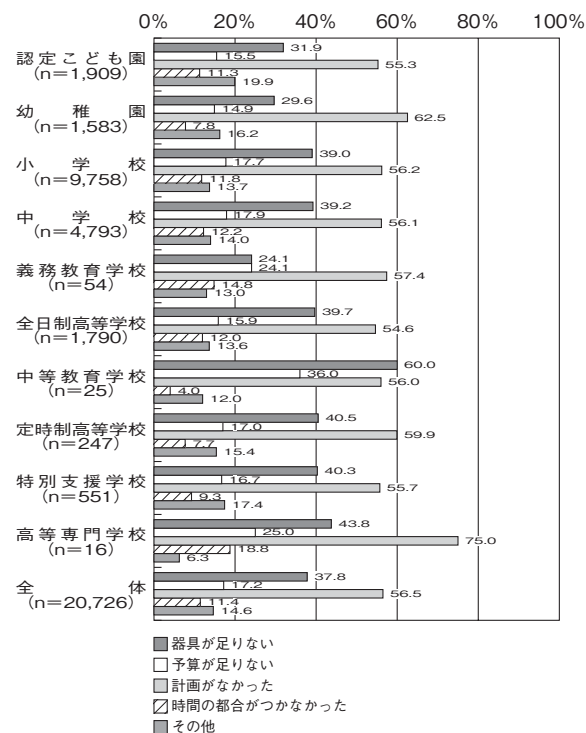
「器具が足りない」37.8%、「予算が足りない」17.2%、「計画がなかった」56.5%、「時間の都合がつかなかった」11.4%、「その他」14.6%であった。

学校種別では、「器具が足りない」で高かったのは、定時制高等学校40.5%、特別支援学校40.3%、全日制高等学校39.7%、「予算が足りない」で高かったのは、中学校17.9%、小学校17.7%、定時制高等学校17.0%、「計画がなかった」で高かったのは、幼稚園62.5%、定時制高等学校59.9%、小学校56.2%、「時間の都合がつかなかった」で高かったのは、中学校12.2%、全日制高等学校12.0%、小学校11.8%、「その他」で高かったのは、認定こども園19.9%、特別支援学校17.4%、定時制高等学校15.4%であった。

都道府県別では、「器具が足りない」で高かったのは、新潟県79.6%、香川県60.6%、京都府57.5%、「予算が足りない」で高かったのは、和歌山県38.7%、徳島県34.8%、沖縄県34.7%、「計画がなかった」で高かったのは、千葉県80.1%、福岡県76.8%、大阪府76.1%、「時間の都合がつかなかった」で高かったのは、島根県38.5%、愛媛県31.0%、高知県30.6%、「その他」で高かったのは、宮崎県36.6%、青森県32.0%、高知県26.4%であった。

*都道府県別データは40ページ参照

1-8 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。全項目実施できなかった理由は何ですか。(複数回答可)



1-9 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。実施できていない項目の実施を要望しましたか。

「要望した」10.9%、「要望しなかった」89.1%であった。

学校種別では、「要望した」で高かったのは、中学校11.7%、小学校及び定時制高等学校が11.1%、「要望しなかった」で高かったのは、特別支援学校91.7%、幼稚園91.3%、認定こども園90.1%であった。

都道府県別では、「要望した」で高かったのは、岐阜県34.4%、愛知県23.8%、奈良県23.5%、「要望しなかった」で高かったのは、北海道及び青森県が97.7%、香川県97.5%であった。

* 都道府県別データは41ページ参照

1-10 学校環境衛生検査の結果を校長等管理職に直接報告しましたか。

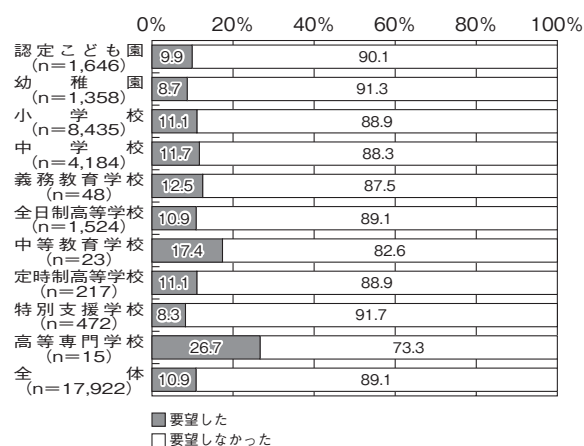
「毎回した」62.0%、「時々した」23.5%、「一度もしなかった」14.5%であった。

学校種別では、「毎回した」で高かったのは、認定こども園79.0%、幼稚園69.8%、小学校61.3%、「時々した」で高かったのは、特別支援学校26.3%、小学校25.8%、中学校25.1%、「一度もしなかった」で高かったのは、定時制高等学校24.0%、全日制高等学校20.8%、特別支援学校17.5%であった。

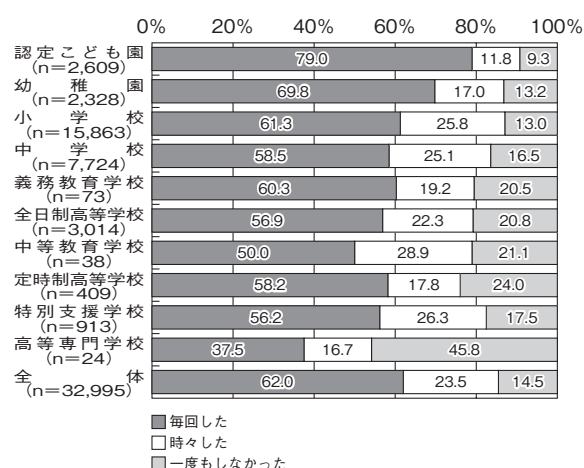
都道府県別では、「毎回した」で高かったのは、長野県78.5%、奈良県76.5%、秋田県76.2%、「時々した」で高かったのは、三重県33.3%、新潟県31.1%、京都府31.0%、「一度もしなかった」で高かったのは、新潟県24.9%、高知県及び佐賀県が24.2%であった。

* 都道府県別データは41ページ参照

1-9 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。実施できていない項目の実施を要望しましたか。



1-10 学校環境衛生検査の結果を校長等管理職に直接報告しましたか。



1-11 学校保健委員会への出席要請がありましたか。

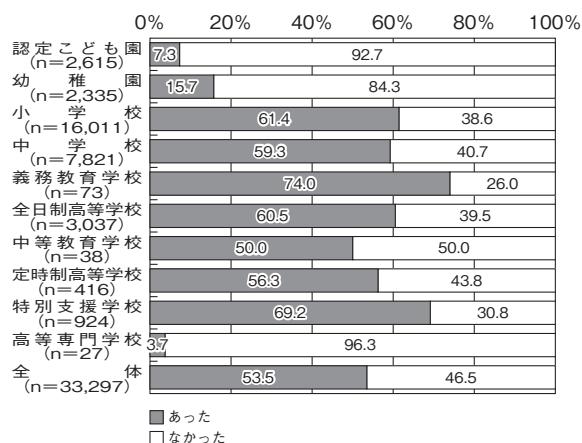
「あった」53.5%、「なかった」46.5%であった。

学校種別で「出席要請があった」で高かったのは、特別支援学校69.2%、小学校61.4%、全日制高等学校60.5%、「出席要請がなかった」で高かったのは、認定こども園92.7%、幼稚園84.3%、定時制高等学校43.8%であった。

都道府県別では、「出席要請があった」で高かったのは、岩手県89.7%、宮城県89.6%、岐阜県86.9%、「出席要請がなかった」で高かったのは、北海道91.5%、宮崎県87.8%、青森県80.6%であった。

* 都道府県別データは42ページ参照

1-11 学校保健委員会への出席要請がありましたか。



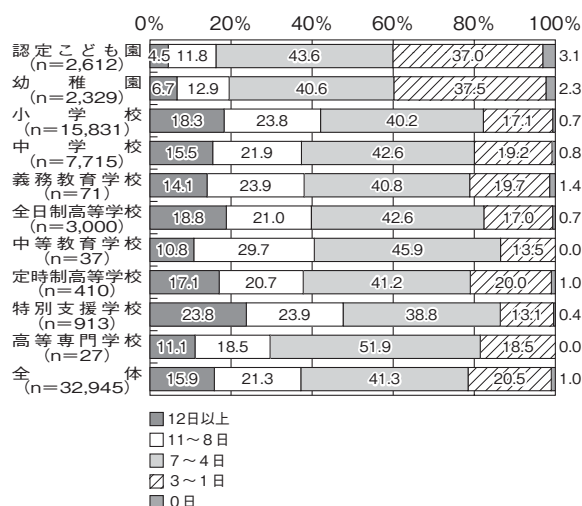
1-12 2019年度における出校日数は何日ですか。(メール、電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む)

「12日以上」15.9%、「11～8日」21.3%、「7～4日」41.3%、「3～1日」20.5%、「0日」1.0%であった。

※本問は、1日単位で出校日数を回答する設問であるが、集計の都合上、上記5つの区分で整理した。

学校種別では、「12日以上」で高かったのは、特別支援学校23.8%、全日制高等学校18.8%、小学校18.3%、「11～8日」で高かったのは、特別支援学校23.9%、小学校23.8%、中学校21.9%、「7～4日」で高かったのは、認定こども園43.6%、中学校及び全日制高等学校が42.6%、「3～1日」で高かったのは、幼稚園37.5%、認定こども園37.0%、定時制高等学校20.0%、「0日」で高かったのは、認定こども園3.1%、幼稚園2.3%、小学校0.7%、中学校0.8%、義務教育学校1.4%、全日制高等学校0.7%、中等教育学校0.0%、定時制高等学校1.0%、特別支援学校0.4%、高等専門学校0.0%、全体1.0%であった。

1-12 2019年度における出校日数は何日ですか。(メール、電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む)



1-12 2019年度における出校日数は何日ですか。(メール、電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む)

日数	認定 こども園	幼稚園	小学校	中学校	義務教育 学校	全日制 高等学校	中等教育 学校	定時制 高等学校	特別支援 学校	高等専門 学校	全体
0	81	54	103	63	1	20	0	4	4	0	330
1	136	144	372	247	4	46	0	9	8	1	967
2	385	321	870	479	6	155	0	26	31	1	2,274
3	445	409	1,467	753	4	308	5	47	81	3	3,522
4	366	335	1,594	885	9	344	1	44	104	4	3,686
5	375	294	1,951	1,067	6	447	9	53	109	6	4,317
6	277	211	1,644	778	6	312	4	49	85	2	3,368
7	122	106	1,168	560	8	174	3	23	56	2	2,222
8	118	98	1,148	524	3	209	3	33	52	2	2,190
9	45	47	593	249	1	80	1	12	30	0	1,058
10	132	131	1,635	720	13	282	7	32	99	3	3,054
11	12	24	391	196	0	58	0	8	37	0	726
12	38	60	836	405	4	187	1	28	73	1	1,633
13	7	17	332	104	0	52	2	6	19	0	539
14	10	11	250	90	2	54	0	7	13	0	437
15	25	24	481	202	1	88	0	6	40	1	868
16	2	4	151	47	0	25	0	3	9	0	241
17	0	1	59	23	0	8	0	2	9	0	102
18	1	6	112	43	0	21	0	1	9	0	193
19	1	1	33	17	0	7	0	1	6	0	66
20	17	9	248	109	2	42	1	7	12	1	448
21	2	1	33	16	0	7	0	2	2	0	63
22	2	2	37	20	0	3	0	1	0	0	65
23	1	0	21	2	0	3	0	0	0	0	27
24	1	2	37	11	0	17	0	2	3	0	73
25	2	1	56	21	0	11	0	0	4	0	95
26	0	0	13	4	0	1	0	0	1	0	19
27	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	11
28	0	0	14	6	0	1	0	0	1	0	22
29	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	5
30	1	3	38	17	0	12	0	1	6	0	78
31	0	0	5	1	0	3	0	1	1	0	11
32	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0	7
33	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	8
34	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
35	0	0	8	7	0	2	0	0	0	0	17
36	0	0	5	2	0	2	0	0	0	0	9
37	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
38	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	5
39	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
40	1	0	6	5	1	0	0	0	0	0	13
41	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4
42	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
43	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
44	1	0	3	0	0	1	0	0	1	0	6
45	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6
46	0	2	3	0	0	1	0	0	0	0	6
47	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
48	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3
50	0	0	7	3	0	1	0	0	1	0	12
51	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
53	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
54	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
55	0	3	5	1	0	1	0	0	0	0	10
56	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
58	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
59	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
60	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
61	0	0	4	1	0	1	0	0	0	0	6
62	1	0	6	1	0	0	0	1	0	0	9
63	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	5
64	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
65	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
66	1	4	7	5	0	4	0	0	1	0	22
67	0	1	4	2	0	0	0	0	1	0	8
68	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	4
69	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
70	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
77	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
78	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
80	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
86	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
88	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
90	0	0	3	1	0	0	0	0	1	0	5
93	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4
94	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
95	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
97	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
98	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
99	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
全体	2,612	2,329	15,831	7,715	71	3,000	37	410	913	27	32,945

*本問は前ページで、報告書の表示形式に沿って、出校日数に関する回答を5つの区分でまとめた集計結果を表示しているが、本表では参考として、回答を個々の日数毎に集計した結果を表示した。なお、回答の無かった日数に関しては表示を省略している。

園3.1%、幼稚園2.3%、定時制高等学校1.0%であった。

都道府県別では、「12日以上」で高かったのは、東京都49.3%、愛知県34.4%、神奈川県33.5%、「11日～8日」で高かったのは、東京都34.0%、三重県33.8%、愛知県32.9%、「7～4日」で高かったのは、新潟県66.3%、宮崎県62.4%、鳥取県59.7%、「3～1日」で高かったのは、高知県60.9%、大分県57.4%、島根県52.2%、「0日」で高かったのは、島根県4.8%、和歌山県及び佐賀県が4.1%であった。

*都道府県別データは42ページ参照

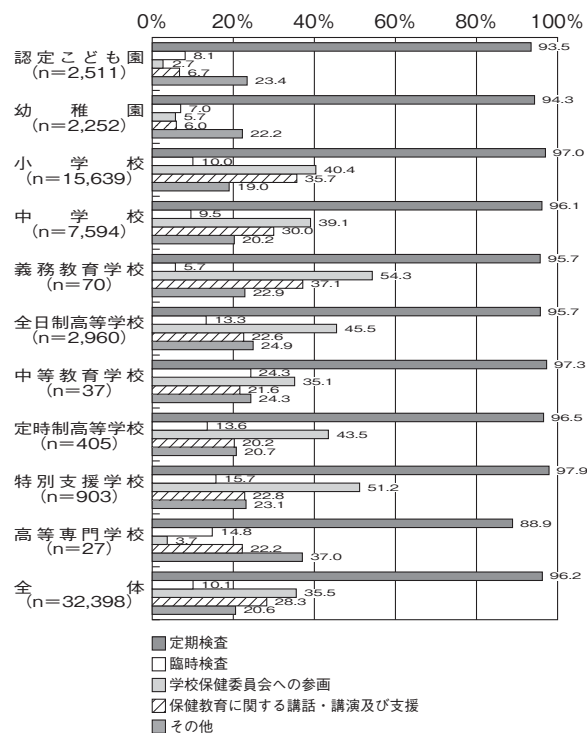
1-13 出校した人にお聞きします。 出校目的は何ですか（複数回答可）

「定期検査」96.2%、「臨時検査」10.1%、「学校保健委員会への参画」35.5%、「保健教育に関する講話・講演及び支援」28.3%、「その他」20.6%であった。

学校種別では、「定期検査」で高かったのは、特別支援学校97.9%、小学校97.0%、定時制高等学校96.5%、「臨時検査」で高かったのは、特別支援学校15.7%、定時制高等学校13.6%、全日制高等学校13.3%、「学校保健委員会への参画」で高かったのは、特別支援学校51.2%、全日制高等学校45.5%、定時制高等学校43.5%、「保健教育に関する講話・講演及び支援」で高かったのは、小学校35.7%、中学校30.0%、全日制高等学校24.9%、「その他」で高かったのは、全日制高等学校24.9%、認定こども園23.4%、特別支援学校23.1%であった。

都道府県別では、「定期検査」で高かったのは、滋賀県100.0%、三重県99.9%、宮崎県99.8%、「臨時検査」で高かったのは、大阪府19.0%、岡山県17.6%、佐賀県15.4%、「学校保健委員会への参画」で高かったのは、岐阜県

1-13 出校した人にお聞きします。出校目的は何ですか。
(複数回答可)



77.2%、群馬県71.3%、岩手県69.4%、「保健教育に関する講話・講演及び支援」で高かったのは、静岡県69.5%、岩手県65.4%、鹿児島県49.9%、「その他」で高かったのは、栃木県41.9%、群馬県40.7%、奈良県39.3%であった。

＊都道府県別データは43ページ参照

1-14 2019年度における当該校の1年間の報酬はいくらでしたか

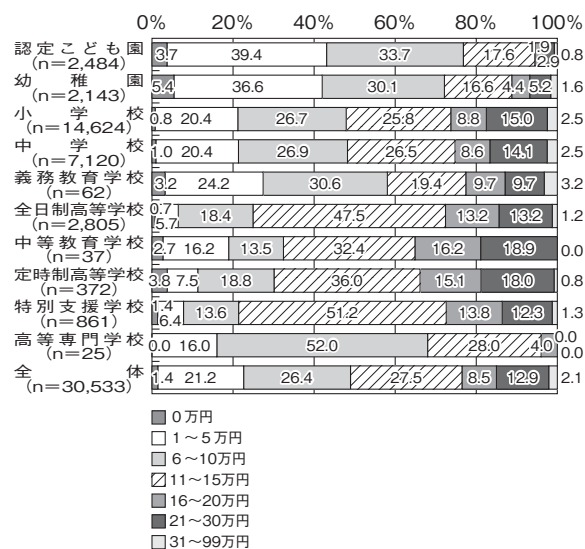
「0万円」1.4%、「1～5万円」21.2%、「6～10万円」26.4%、「11～15万円」27.5%、「16～20万円」8.5%、「21～30万円」12.9%、「31～99万円」2.1%であった。

※本問は、1万円単位で金額を記載する設問であるが、集計の都合上、上記7つの区分で整理した。

学校種別では、「0万円」で高かったのは、幼稚園5.4%、定時制高等学校3.8%、認定こども園3.7%、「1～5万円」で高かったのは、認定こども園39.4%、幼稚園36.6%、小学校及び中学校が20.4%、「6～10万円」で高かったのは、認定こども園33.7%、幼稚園30.1%、中学校26.9%、「11～15万円」で高かったのは、特別支援学校51.2%、全日制高等学校47.5%、定時制高等学校36.0%、「16～20万円」で高かったのは、定時制高等学校15.1%、特別支援学校13.8%、全日制高等学校13.2%、「21～30万円」で高かったのは、定時制高等学校18.0%、小学校15.0%、中学校14.1%、「31～99万円」で高かったのは、小学校及び中学校が2.5%、幼稚園1.6%であった。

都道府県別では、「0万円」で高かったのは、愛媛県7.8%、佐賀県7.2%、島根県6.9%、「1～5万円」で高かったのは、大分県76.7%、福井県68.2%、福島県63.3%、「6～10万円」で高かったのは、長野県83.5%、新潟県57.9%、

1-14 2019年度における当該校の1年間の報酬は、いくらでしたか。（一万円単位。千円以下切り捨て）



1-14 2019年度における当該校の1年間の報酬は、いくらでしたか。(一万円単位。千円以下切り捨て)

★支給額(税込み) 交通費は除く。

支給額 (万円)	認定 こども園	幼稚園	小学校	中学校	義務教育 学校	全日制 高等学校	中等教育 学校	定時制 高等学校	特別支援 学校	高等専門 学校	全体
0	92	116	115	68	2	21	1	14	12	0	441
1	88	109	260	140	2	11	1	1	4	1	617
2	146	135	479	244	3	30	1	6	9	0	1,053
3	262	141	763	341	3	30	1	3	8	0	1,552
4	164	176	715	323	2	28	1	3	14	1	1,427
5	318	223	764	403	5	62	2	15	20	2	1,814
6	202	119	719	345	4	54	0	7	24	2	1,476
7	105	130	908	457	5	102	3	21	15	2	1,748
8	122	101	568	272	6	86	0	12	14	3	1,184
9	213	156	615	295	2	51	1	9	10	1	1,353
10	196	140	1,101	546	2	224	1	21	54	5	2,290
11	59	66	440	208	2	50	0	2	20	1	848
12	79	64	635	312	2	158	1	13	50	0	1,314
13	24	47	306	164	1	76	1	8	31	1	659
14	77	58	744	353	3	245	4	29	87	2	1,602
15	199	121	1,648	852	4	803	6	82	253	3	3,971
16	12	22	251	128	2	121	5	16	42	0	599
17	2	8	144	59	1	32	0	6	17	0	269
18	18	24	258	135	1	62	0	10	19	0	527
19	3	18	285	126	1	54	1	5	14	0	507
20	13	23	345	164	1	101	0	19	27	1	694
21	18	10	170	78	1	26	1	0	8	0	312
22	11	4	172	80	0	22	1	0	4	0	294
23	1	1	258	107	0	17	0	4	11	0	399
24	11	10	321	139	1	44	1	5	11	0	543
25	23	15	544	249	0	25	0	2	24	0	882
26	2	7	153	72	1	13	0	3	5	0	256
27	0	32	205	94	0	34	0	7	4	0	376
28	0	10	70	38	1	70	2	26	21	0	238
29	1	5	80	50	1	30	2	7	6	0	182
30	4	17	226	99	1	88	0	13	12	0	460
31	0	5	31	16	0	6	0	0	1	0	59
32	0	1	83	45	0	2	0	0	1	0	132
33	1	1	64	26	0	0	0	0	2	0	94
34	0	0	7	4	0	1	0	0	0	0	12
35	0	3	22	7	0	3	0	0	0	0	35
36	1	3	6	4	0	3	0	0	0	0	17
37	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	6
38	3	2	6	1	0	1	0	0	0	0	13
39	0	1	2	2	0	1	0	0	0	0	6
40	0	0	15	5	0	0	0	1	2	0	23
41	0	0	6	3	0	1	0	0	1	0	11
42	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0	6
43	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
44	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	6
45	0	1	3	3	0	1	0	0	0	0	8
46	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
47	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	8
48	0	0	16	7	0	0	0	0	0	0	23
49	0	0	15	9	0	0	0	0	0	0	24
50	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	7
51	0	1	15	7	0	0	0	0	0	0	23
53	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
54	0	3	3	3	0	1	0	0	0	0	10
55	1	1	5	3	0	2	0	1	0	0	13
56	0	0	2	1	0	0	0	0	3	0	6
57	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
58	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
59	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
60	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3
61	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
62	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
64	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
65	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4
66	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
69	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
70	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	8
71	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
72	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
73	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	5
75	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
77	1	3	6	2	0	2	0	0	0	0	14
78	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
80	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	5
81	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
84	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5
85	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	5
87	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
88	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
89	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
90	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
93	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
94	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
95	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
96	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4
97	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
98	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
99	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	2,484	2,143	14,624	7,120	62	2,805	37	372	861	25	30,533

* 本問は前ページで、報告書の表示形式に沿って、報酬額に関する回答を7つの区分でまとめた集計結果を表示しているが、本表では参考として、回答を個々の報酬額毎に集計した結果を表示した。なお、回答の無かった報酬額に関しては表示を省略している。

鳥取県56.0%、「11～15万円」で高かったのは、青森県61.2%、長崎県55.3%、宮城県54.4%、「16～20万円」で高かったのは、北海道33.1%、福岡県27.3%、愛知県22.7%、「21～30万円」で高かったのは、東京都67.2%、神奈川県51.8%、愛知県45.9%、「31～99万円」で高かったのは、東京都19.2%、愛知県6.3%、山梨県3.0%であった。

＊都道府県別データは44ページ参照

A. 2019年度における換気（二酸化炭素）、温度、相対湿度の定期検査の実施状況についてお聞きします。

A－1 換気（二酸化炭素）の検査を何回行いましたか。

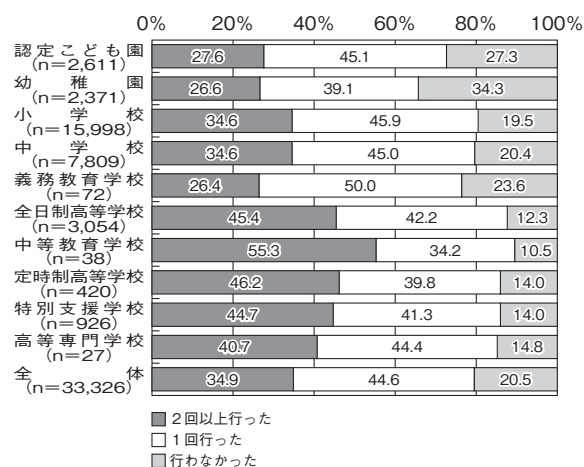
「2回以上行った」34.9%、「1回行った」44.6%、「行わなかった」20.5%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校46.2%、全日制高等学校45.4%、特別支援学校44.7%、「1回行った」で高かったのは、小学校45.9%、認定こども園45.1%、中学校45.0%、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園34.3%、認定こども園27.3%、中学校20.4%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、神奈川県81.2%、愛知県79.3%、新潟県68.7%、「1回行った」で高かったのは、岩手県79.1%、秋田県76.2%、三重県74.4%、「行わなかった」で高かったのは、沖縄県94.0%、和歌山県59.0%、岡山県52.3%であった。

＊都道府県別データは44ページ参照

A－1 換気（二酸化炭素）の検査を何回行いましたか。



A-2 主にどのような測定器を用いて行いましたか。

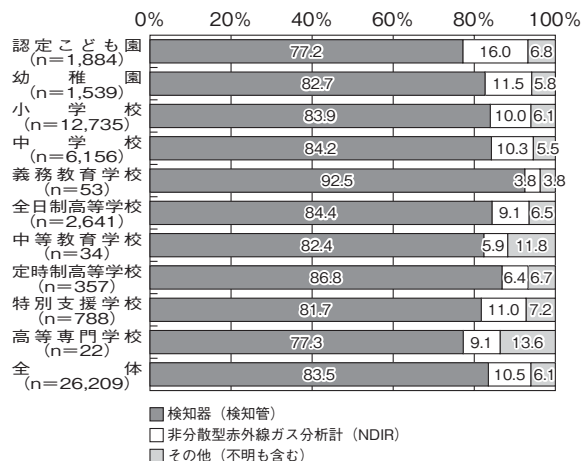
「検知器（検知管）」83.5%、「非分散型赤外線ガス分析計（NDIR）」10.5%、「その他（不明も含む）」6.1%であった。

学校種別で「検知器（検知管）」で高かったのは、定時制高等学校86.8%、全日制高等学校84.4%、中学校84.2%、「非分散型赤外線ガス分析計（NDIR）」で高かったのは、認定こども園16.0%、幼稚園11.5%、特別支援学校11.0%であった。

都道府県別では、「検知器（検知管）」で高かったのは、徳島県及び高知県が100.0%、宮城県99.7%、滋賀県99.2%、「非分散型赤外線ガス分析計（NDIR）」で高かったのは、香川県65.8%、和歌山県63.8%、奈良県45.1%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、富山県52.9%、石川県23.9%、茨城県23.4%であった。

*都道府県別データは46ページ参照

A-2 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



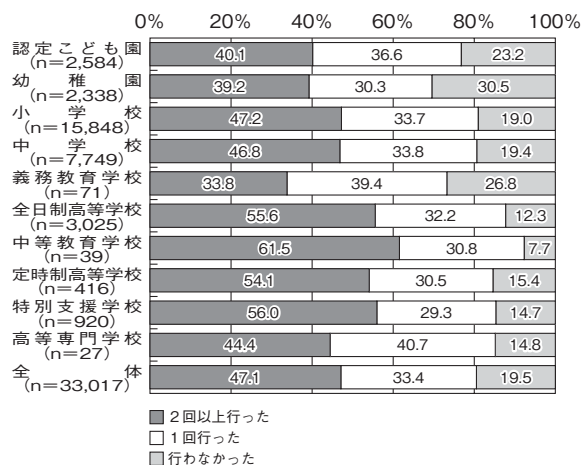
A-3 温度の検査を何回行いましたか。

「2回以上行った」47.1%、「1回行った」33.4%、「行わなかった」19.5%であった。

学校種別で「2回以上行った」で高かったのは、特別支援学校56.0%、全日制高等学校55.6%、定時制高等学校54.1%、「1回行った」で高かったのは、認定こども園36.6%、中学校33.8%、小学校33.7%、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園30.5%、認定こども園23.2%、中学校19.4%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、愛知県85.2%、宮崎県85.1%、神奈川県84.3%、「1回行った」で高かったのは、三重県65.7%、岩手県64.4%、青森県63.7%、「行

A-3 温度の検査を何回行いましたか。



わなかった」で高かったのは、沖縄県74.5%、福岡県50.3%、佐賀県45.8%であった。

＊都道府県別データは46ページ参照

A-4 主にどのような測定器を用いて行いましたか。

「0.5度目盛の温度計（デジタル表示）」53.9%、「0.5度目盛の温度計（非デジタル表示）」30.7%、「その他（不明も含む）」15.4%であった。

学校種別では、「0.5度目盛の温度計（デジタル表示）」で高かったのは、認定子ども園67.3%、特別支援学校54.5%、中学校54.2%、「0.5度目盛の温度計（非デジタル表示）」で高かったのは、定時制高等学校33.4%、小学校32.4%、全日制高等学校31.5%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、幼稚園18.8%、定時制高等学校18.6%、特別支援学校18.6%であった。

都道府県別では、「0.5度目盛の温度計（デジタル表示）」で高かったのは、香川県89.3%、宮崎県82.5%、富山県80.8%、「0.5度目盛の温度計（非デジタル表示）」で高かったのは、三重県80.2%、新潟県66.0%、群馬県62.2%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、和歌山県54.0%、大分県40.0%、奈良県34.0%であった。

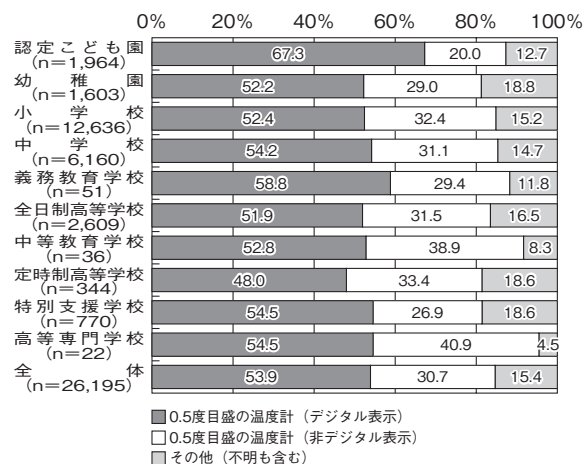
＊都道府県別データは47ページ参照

A-5 相対湿度の検査を何回行いましたか。

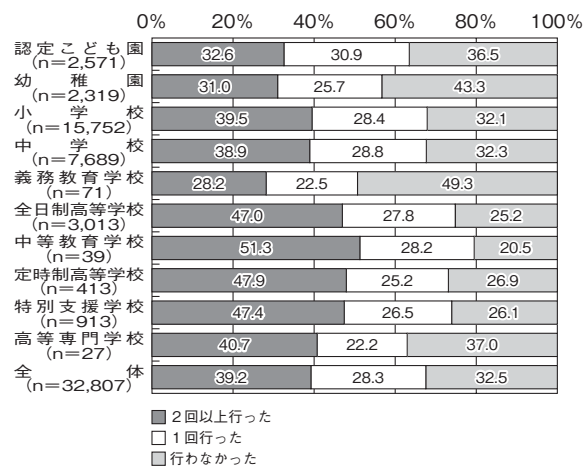
「2回以上行った」39.2%、「1回行った」28.3%、「行わなかった」32.5%であった。

学校種別では「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校47.9%、特別支援学校47.4%、全日制高等学校47.0%、「1回行った」

A-4 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



A-5 相対湿度の検査を何回行いましたか。



で高かったのは、認定こども園30.9%、中学校28.8%、小学校28.4%、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園43.3%、認定こども園36.5%、中学校32.3%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、神奈川県82.1%、愛知県81.8%、宮崎県77.5%、「1回行った」で高かったのは、三重県74.5%、青森県63.2%、岩手県57.2%、「行わなかった」で高かったのは、沖縄県92.6%、福岡県66.1%、佐賀県65.4%であった。

＊都道府県別データは47ページ参照

A-6 主にどのような測定器を用いて行いましたか。

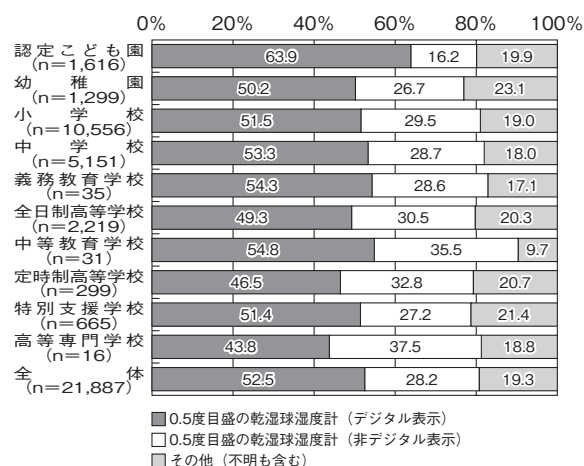
「0.5度目盛の乾湿球湿度計（デジタル表示）」52.5%、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（非デジタル表示）」28.2%、「その他（不明も含む）」19.3%であった。

学校種別では、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（デジタル表示）」で高かったのは、認定こども園63.9%、中学校53.3%、小学校51.5%、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（非デジタル表示）」で高かったのは、定時制高等学校32.8%、全日制高等学校30.5%、小学校29.5%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、幼稚園23.1%、特別支援学校21.4%、定時制高等学校20.7%、であった。

都道府県別では、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（デジタル表示）」で高かったのは、香川県92.5%、福岡県72.9%、東京都71.8%、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（非デジタル表示）」で高かったのは、三重県89.6%、新潟県68.0%、京都府66.6%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、和歌山県59.0%、富山県50.8%、大分県47.8%であった。

＊都道府県別データは48ページ参照

A-6 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



B. 2019年度における浮遊粉じん、気流の定期検査の実施状況についてお聞きします。

B－１ 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用している場合は、浮遊粉じんと気流の定期検査を行わなくてはならないことを知っていますか。

「知っている」56.9%、「知らなかった」43.1%であった。

学校種別では、「知っている」で高かったのは、定時制高等学校64.8%、特別支援学校62.7%、全日制高等学校61.8%、「知らなかった」で高かったのは、幼稚園51.0%、認定こども園47.4%、小学校42.9%であった。

都道府県別では、「知っている」で高かったのは、愛知県86.1%、岐阜県84.8%、神奈川県78.6%、「知らなかった」で高かったのは、滋賀県70.4%、北海道66.8%、大阪府65.7%であった。

*都道府県別データは48ページ参照

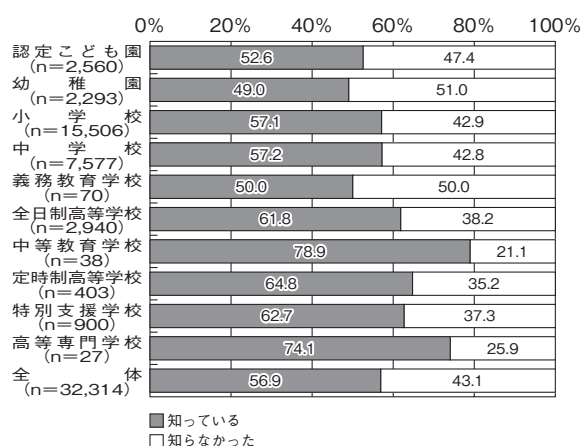
B－２ 浮遊粉じんの検査の結果が著しく基準値を下回る場合は、次回から検査を省略することができることを知っていますか。

「知っている」47.2%、「知らなかった」52.8%であった。

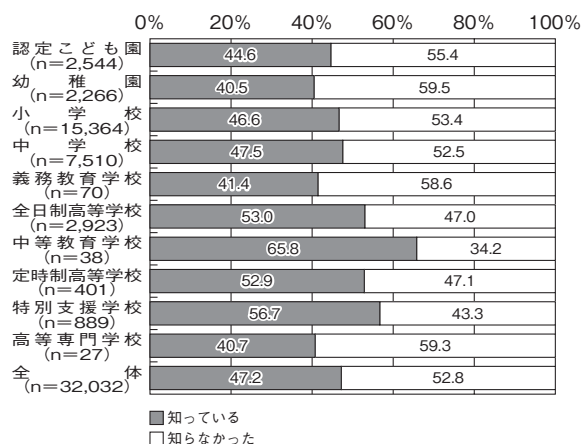
学校種別では、「知っている」で高かったのは、特別支援学校56.7%、全日制高等学校53.0%、定時制高等学校52.9%、「知らなかった」で高かったのは、幼稚園59.5%、認定こども園55.4%、小学校53.4%であった。

都道府県別では、「知っている」で高かったのは、愛知県76.0%、岐阜県74.1%、京都府

B－１ 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用している場合は、浮遊粉じんと気流の定期検査を行わなくてはならないことを知っていますか。



B－２ 浮遊粉じんの検査の結果が著しく基準値を下回る場合は、次回から検査を省略することができることを知っていますか。



69.8%、「知らなかった」で高かったのは、大分県74.7%、北海道74.5%、福岡県73.7%であった。

＊都道府県別データは49ページ参照

B-3 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用していますか（注：ファンヒーターも含まれます）。

「使用している」73.7%、「使用していない」26.3%であった。

学校種別では、「使用している」で高かったのは、特別支援学校79.0%、認定こども園76.7%、定時制高等学校75.9%、「使用していない」で高かったのは、幼稚園29.5%、中学校27.0%、小学校26.6%であった。

都道府県別では、「使用している」で高かったのは、岐阜県91.0%、神奈川県89.0%、新潟県85.8%、「使用していない」で高かったのは、北海道56.6%、高知県44.1%、沖縄県43.7%であった。

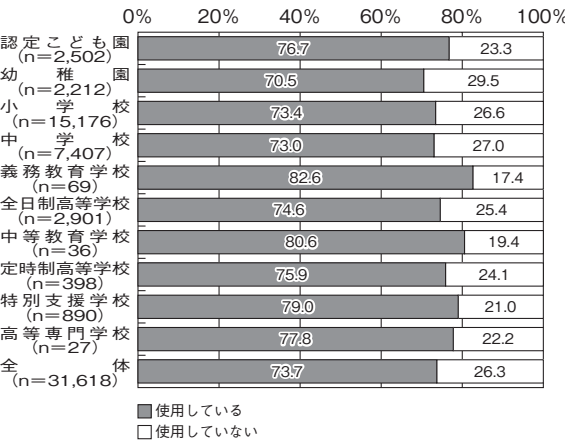
＊都道府県別データは49ページ参照

B-4 浮遊粉じんの検査を何回行いましたか。

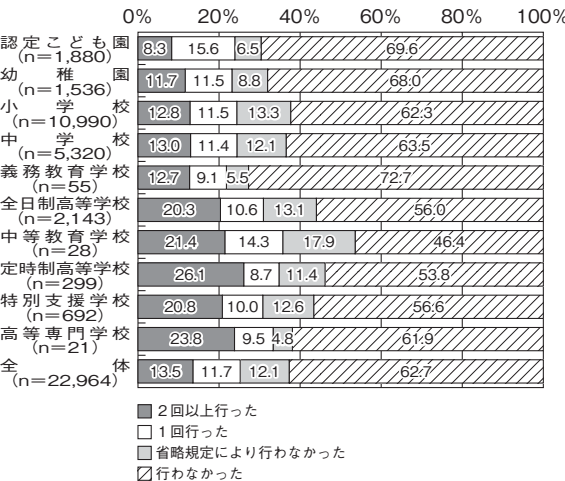
「2回以上行った」13.5%、「1回行った」11.7%、「省略規定により行わなかった」12.1%、「行わなかった」62.7%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校26.1%、特別支援学校20.8%、全日制高等学校20.3%、「1回行った」で高かったのは、認定こども園15.6%、幼稚園及び小学校が11.5%、「省略規定により行わなかった」で高かったのは、小学校13.3%、全日制高等学校13.1%、特別支援学校12.6%、「行わ

B-3 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用していますか。（注：ファンヒーターも含まれます）



B-4 浮遊粉じんの検査を何回行いましたか。



なかった」で高かったのは、認定こども園69.6%、幼稚園68.0%、中学校63.5%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、奈良県58.7%、香川県40.6%、神奈川県39.1%、「1回行った」で高かったのは、富山県46.6%、和歌山県45.6%、石川県42.4%、「省略規定により行わなかった」で高かったのは、京都府32.8%、神奈川県29.5%、愛知県24.9%、「行わなかった」で高かったのは、宮崎県98.2%、三重県95.2%、長野県92.5%であった。

＊都道府県別データは50ページ参照

B-5 浮遊粉じんの検査は、主にどのような方法で行いましたか。

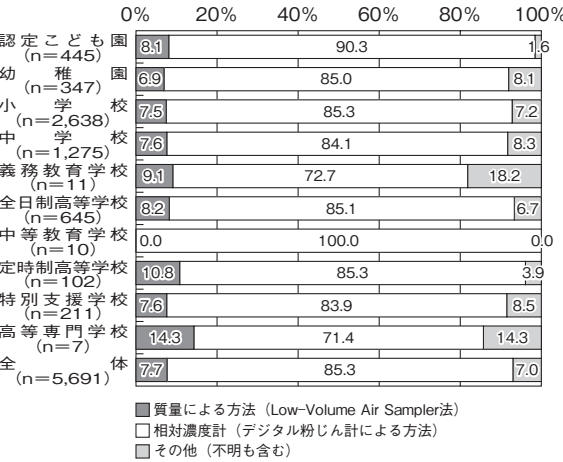
「質量による方法」7.7%、「相対濃度計」85.3%、「その他（不明も含む）」7.0%であった。

学校種別では、「質量による方法」で高かったのは、定時制高等学校10.8%、全日制高等学校8.2%、認定こども園8.1%、「相対濃度計」で高かったのは、認定こども園90.3%、小学校及び定時制高等学校が85.3%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、特別支援学校8.5%、中学校8.3%、幼稚園8.1%であった。

都道府県別では、「質量による方法」で高かったのは、長崎県60.0%、宮城県33.3%、北海道29.2%、「相対濃度計」で高かったのは、三重県、和歌山県、山口県、高知県、宮崎県100.0%、福井県99.2%、山梨県97.4%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、滋賀県66.7%、静岡県65.4%、大阪府64.3%であった。

＊都道府県別データは50ページ参照

B-5 浮遊粉じんの検査は、主にどのような方法で行いましたか。



B-6 気流の検査を何回行いましたか。

「2回以上行った」20.4%、「1回行った」13.1%、「行わなかった」66.5%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校32.9%、全日制高等学校27.2%、特別支援学校26.0%、「1回行った」で高かったのは、認定こども園17.3%、小学校13.1%、幼稚園12.6%、特別支援学校12.6%、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園71.4%、認定こども園70.3%、中学校67.1%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、神奈川県71.8%、奈良県64.2%、愛知県57.6%、「1回行った」で高かったのは、青森県58.3%、富山県45.5%、石川県42.5%、「行わなかった」で高かったのは、宮崎県99.5%、徳島県99.4%、岡山県99.1%であった。

*都道府県別データは51ページ参照

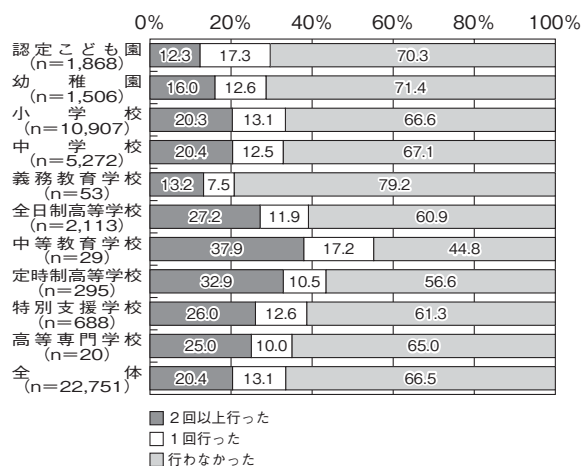
B-7 気流の検査は、主にどのような方法で行いましたか。

「カタ温度計」13.5%、「微風速計」76.0%、「その他（不明も含む）」10.5%であった。

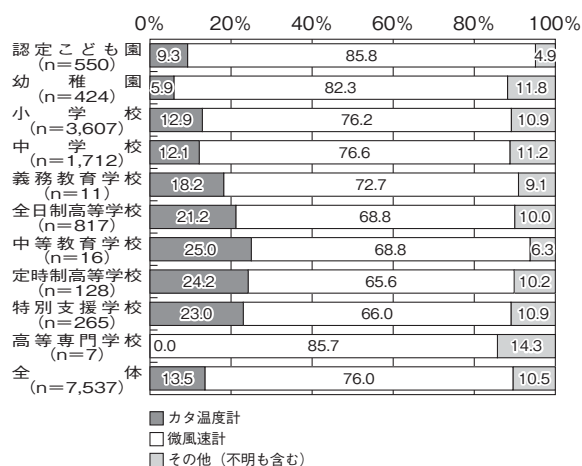
学校種別では、「カタ温度計」で高かったのは、定時制高等学校24.2%、特別支援学校23.0%、全日制高等学校21.2%、「微風速計」で高かったのは、認定こども園85.8%、幼稚園82.3%、中学校76.6%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、幼稚園11.8%、中学校11.2%、小学校及び特別支援学校が10.9%であった。

都道府県別では、「カタ温度計」で高かったのは、岩手県80.0%、石川県70.8%、群馬県55.5%、「微風速計」で高かったのは、島根県、宮崎県100.0%、山梨県96.6%、和歌山県96.5%、

B-6 気流の検査を何回行いましたか。



B-7 気流の検査は、主にどのような方法で行いましたか。



「その他（不明も含む）」で高かったのは、岡山県100.0%、滋賀県88.9%、佐賀県80.0%であった。

*都道府県別データは51ページ参照

C. 2019年度における一酸化炭素、二酸化窒素の定期検査の実施状況についてお聞きます。

C-1 燃焼器具を使用していますか。

「使用している」36.4%、「使用していない」63.6%であった。

学校種別では、「使用している」で高かったのは、定時制高等学校47.8%、全日制高等学校43.0%、小学校38.0%、「使用していない」で高かったのは、認定子ども園78.0%、中学校64.9%、特別支援学校64.6%であった。

都道府県別では、「使用している」で高かったのは、長野県83.3%、岩手県73.4%、福島県63.5%、「使用していない」で高かったのは、沖縄県95.9%、東京都87.2%、鹿児島県83.9%であった。

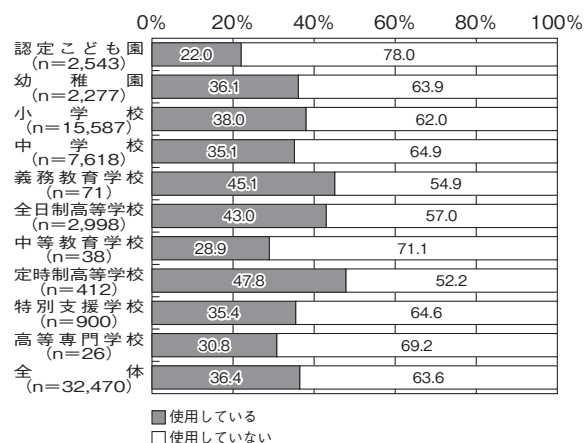
*都道府県別データは52ページ参照

C-2 一酸化炭素の検査を何回行いましたか。

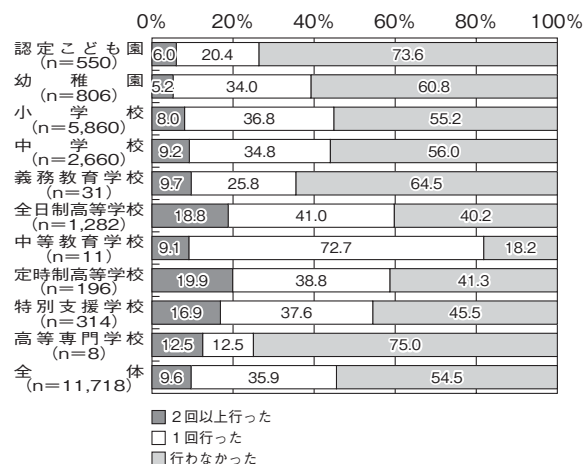
「2回以上行った」9.6%、「1回行った」35.9%、「行わなかった」54.5%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校19.9%、全日制高等学校18.8%、特別支援学校16.9%、「1回行った」で高かったのは、全日制高等学校41.0%、定時制高等学校38.8%、特別支援学校37.6%、「行わなかった」で高かったのは、認定子ども園

C-1 燃焼器具を使用していますか。



C-2 一酸化炭素の検査を何回行いましたか。



73.6%、幼稚園60.8%、中学校56.0%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、福井県44.6%、東京都37.5%、奈良県31.0%、「1回行った」で高かったのは、千葉県74.2%、三重県73.1%、滋賀県66.0%、「行わなかった」で高かったのは、秋田県96.5%、沖縄県94.7%、鹿児島県92.8%であった。

＊都道府県別データは52ページ参照

C-3 主にどのような方法で行いましたか。

「検知管法」93.5%、「非分散形赤外線吸収法」1.3%、「定電位電解法」1.1%、「水素炎イオン化検出法（FID）」0.1%、「接触燃焼法」0.0%、「その他（不明も含む）」4.0%であった。

学校種別では、「検知管法」で高かったのは、認定こども園95.8%、小学校93.8%、中学校及び全日制高等学校93.5%、「非分散形赤外線吸収法」で高かったのは、全日制高等学校2.0%、特別支援学校1.8%、小学校1.3%、「定電位電解法」で高かったのは、幼稚園2.9%、特別支

C-3 主にどのような方法で行いましたか。

	1. 検知管法	2. 非分散形赤外線吸収法	3. 定電位電解法	4. 水素炎イオン化検出法（FID）	5. 接触燃焼法	6. その他（不明も含む）
認定こども園（n=143）	95.8	0.0	0.7	0.7	0.0	2.8
幼稚園（n=314）	92.4	0.6	2.9	0.0	0.0	4.1
小学校（n=2,603）	93.8	1.3	0.9	0.0	0.0	4.0
中学校（n=1,157）	93.5	1.2	1.4	0.1	0.0	3.8
義務教育学校（n=11）	72.7	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1
全日制高等学校（n=757）	93.5	2.0	0.8	0.0	0.0	3.7
中等教育学校（n=9）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定時制高等学校（n=114）	93.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
特別支援学校（n=166）	89.8	1.8	1.8	0.0	0.0	6.6
高等専門学校（n=2）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体（n=5,276）	93.5	1.3	1.1	0.1	0.0	4.0

援学校1.8%、中学校1.4%、「水素炎イオン化検出法（FID）」で高かったのは、認定こども園0.7%、中学校0.1%、他は0%、「接触燃焼法」は、すべて0%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、定時制高等学校7.0%、特別支援学校6.6%、幼稚園4.1%であった。

都道府県別では、「検知管法」で高かったのは、山梨県、滋賀県、鳥取県、島根県、徳島県、高知県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県が100.0%、千葉県、新潟県及び京都府が98.5%、「非分散形赤外線」で高かったのは、香川県33.3%、秋田県12.5%、茨城県6.5%、「定電位電解法」で高かったのは、香川県16.7%、奈良県9.9%、神奈川県6.7%、「水素炎イオン化検出法（FID）」で高かったのは、福岡県1.4%、茨城県0.7%、それ以外の45都道府県は0.0%、「接触燃焼法」は、47都道府県すべて0.0%、「その他（不明も含む）」で高かったのは、大分県35.3%、福島県23.7%、栃木県21.1%であった。

*都道府県別データは53ページ参照

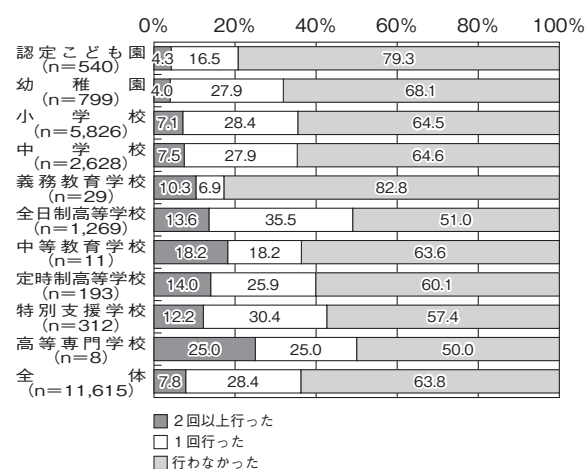
C-4 二酸化窒素の検査を何回行いましたか。

「2回以上行った」7.8%、「1回行った」28.4%、「行わなかった」63.8%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、定時制高等学校14.0%、全日制高等学校13.6%、特別支援学校12.2%、「1回行った」で高かったのは、全日制高等学校35.5%、特別支援学校30.4%、小学校28.4%、「行わなかった」で高かったのは、認定こども園79.3%、幼稚園68.1%、中学校64.6%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、奈良県22.1%、大分県21.7%、福井県19.1%、「1回行った」で高かったのは、香川

C-4 二酸化窒素の検査を何回行いましたか。



県79.3%、千葉県68.1%、奈良県50.8%、「行
わなかった」で高かったのは、沖縄県94.7%、
高知県88.9%、秋田県88.7%であった。

＊都道府県別データは54ページ参照

C-5 主にどのような方法で行いましたか。

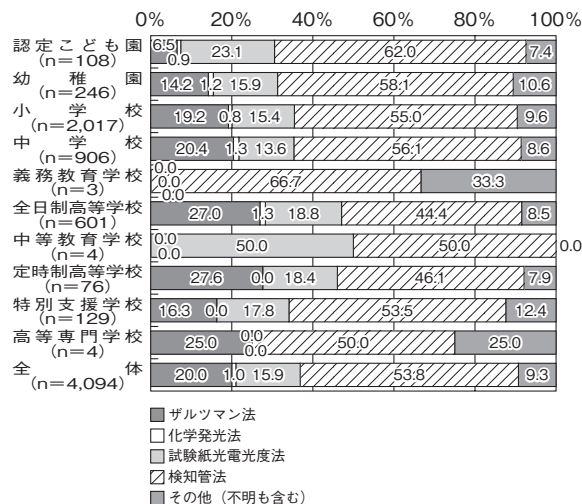
「ザルツマン法」20.0%、「化学発光法」
1.0%、「試験紙光電光度法」15.9%、「検知
管法」53.8%、「その他（不明も含む）」9.3%
であった。

学校種別では、「ザルツマン法」で高かった
のは、定時制高等学校27.6%、全日制高等学校
27.0%、中学校20.4%、「化学発光法」で高かつ
たのは、中学校及び全日制高等学校が1.3%、
幼稚園1.2%、「試験紙光電光度法」で高かった
のは、認定こども園23.1%、全日制高等学校
18.8%、定時制高等学校18.4%、「検知管法」
で高かったのは、認定こども園62.0%、幼稚園
58.1%、中学校56.1%、「その他（不明も含む）」
で高かったのは、特別支援学校12.4%、幼稚園
10.6%、小学校9.6%であった。

都道府県別では、「ザルツマン法」で高かつ
たのは、香川県89.4%、三重県66.0%、長野県
48.6%、「化学発光法」で高かったのは、東京
都19.0%、富山県7.7%、鹿児島県4.5%、「試
験紙光電光度法」で高かったのは、福井県
70.0%、宮崎県55.3%、岡山県53.1%、「検知
管法」で高かったのは、青森県、佐賀県、沖縄
県100.0%、鳥取県96.1%、滋賀県96.0%、「そ
の他（不明も含む）」で高かったのは、富山県
59.0%、高知県33.3%、大分県29.2%であった。

＊都道府県別データは54ページ参照

C-5 主にどのような方法で行いましたか。



D. 2019年度における教室の環境検査
（上記A、B、Cで設問した項目）を
行った学校にお聞きします。

D－1 以下の項目で、不適合項目はありましたか（複数回答可）。

「二酸化炭素」26.4%、「温度」5.5%、「相対湿度」3.6%、「浮遊粉じん」0.8%、「気流」1.0%、「一酸化炭素」0.9%、「二酸化窒素」1.9%、「不適合なし」71.5%であった。

学校種別では、「二酸化炭素」で高かったのは、全日制高等学校45.8%、中学校32.8%、定時制高等学校25.7%、「温度」で高かったのは、特別支援学校6.4%、全日制高等学校5.7%、認定こども園5.6%、「相対湿度」で高かったのは、定時制高等学校5.2%、特別支援学校4.8%、全日制高等学校4.2%、「浮遊粉じん」で高かったのは、認定こども園1.4%、特別支援学校1.0%、定時制高等学校0.9%、「気流」で高かったのは、小学校1.2%、全日制高等学校1.0%、

D－1 以下の項目で、不適合項目はありましたか。（複数回答可）

	1. 二酸化炭素	2. 温度	3. 相対湿度	4. 浮遊粉じん	5. 気流	6. 一酸化炭素	7. 二酸化窒素	8. 不適合なし
認定こども園(n=1,895)	13.6	5.6	4.1	1.4	0.7	0.6	0.9	83.9
幼稚園(n=1,518)	10.1	5.0	2.4	0.7	0.7	0.9	1.1	87.4
小学校(n=12,465)	23.7	5.5	3.6	0.8	1.2	1.0	1.9	74.0
中学校(n=6,043)	32.8	5.5	3.5	0.7	0.9	0.7	1.7	65.3
義務教育学校(n=52)	15.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	84.6
全日制高等学校(n=2,596)	45.8	5.7	4.2	0.8	1.0	1.2	3.1	52.9
中等教育学校(n=33)	57.6	18.2	6.1	0.0	0.0	3.0	3.0	39.4
定時制高等学校(n=343)	25.7	5.0	5.2	0.9	0.9	0.3	3.5	72.0
特別支援学校(n=767)	17.2	6.4	4.8	1.0	0.8	0.7	1.4	79.4
高等専門学校(n=22)	50.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	50.0
全体(n=25,734)	26.4	5.5	3.6	0.8	1.0	0.9	1.9	71.5

中学校及び定時制高等学校が0.9%、「一酸化炭素」で高かったのは、全日制高等学校1.2%、小学校1.0%、幼稚園0.9%、「二酸化窒素」で高かったのは、定時制高等学校3.5%、全日制高等学校3.1%、小学校1.9%、「不適合なし」で高かったのは、幼稚園87.4%、認定こども園83.9%、特別支援学校79.4%であった。

都道府県別では、「二酸化炭素」で高かったのは、福井県52.8%、青森県43.3%、岩手県41.8%、「温度」で高かったのは、群馬県10.4%、高知県8.7%、福井県8.6%、「相対湿度」で高かったのは、富山県7.1%、群馬県6.7%、和歌山県6.4%、「浮遊粉じん」で高かったのは、富山県6.3%、和歌山県及び大分県が4.1%、「気流」で高かったのは、富山県5.1%、群馬県4.7%、茨城県3.5%、「一酸化炭素」で高かったのは、岡山県3.4%、千葉県3.1%、福井県3.0%、「二酸化窒素」で高かったのは、福井県7.5%、千葉県5.9%、茨城県5.6%、「不適合なし」で高かったのは、沖縄県91.7%、静岡県90.3%、鹿児島県89.9%であった。

*都道府県別データは55ページ参照

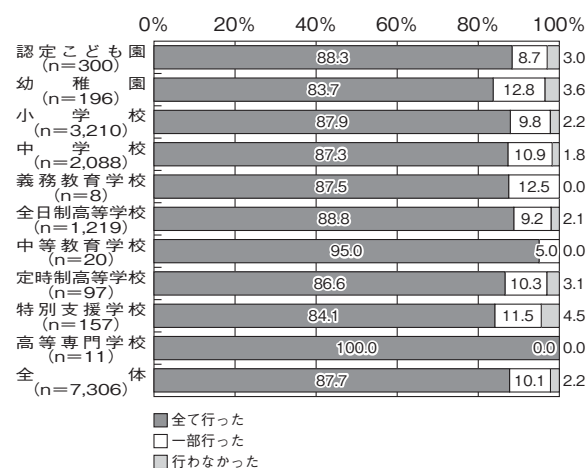
D-2 不適合項目について、指導・助言を行いましたか。

「全て行った」87.7%、「一部行った」10.1%、「行わなかった」2.2%であった。

学校種別では、「全て行った」で高かったのは、全日制高等学校88.8%、認定こども園88.3%、小学校87.9%、「一部行った」で高かったのは、幼稚園12.8%、特別支援学校11.5%、中学校10.9%、「行わなかった」で高かったのは、特別支援学校4.5%、幼稚園3.6%、定時制高等学校3.1%であった。

都道府県別では、「全て行った」で高かったのは、宮崎県96.4%、奈良県95.9%、佐賀県

D-2 不適合項目について、指導・助言を行いましたか。



95.7%、「一部行った」で高かったのは、大分県45.8%、沖縄県44.4%、高知県24.4%、「行わなかった」で高かったのは、沖縄県33.3%、大分県25.0%、愛媛県11.1%であった。

＊都道府県別データは56ページ参照

D-3 指導・助言によって改善しましたか。

「全て改善した」41.4%、「一部改善した」32.1%、「改善しなかった」3.4%、「わからない」23.0%であった。

学校種別では、「全て改善した」で高かったのは、認定こども園49.6%、特別支援学校44.9%、小学校44.1%、「一部改善した」で高かったのは、全日制高等学校41.6%、定時制高等学校37.0%、中学校32.8%、「改善しなかった」で高かったのは、定時制高等学校8.7%、全日制高等学校5.5%、中学校3.6%、「わからない」で高かったのは、幼稚園33.2%、認定こども園26.8%、小学校23.9%であった。

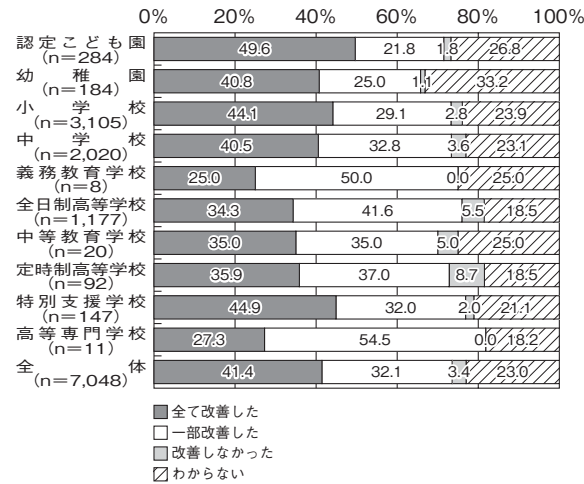
都道府県別では、「全て改善した」で高かったのは、鹿児島県59.6%、徳島県56.7%、埼玉県56.1%、「一部改善した」で高かったのは、沖縄県83.3%、福島県47.3%、山梨県46.5%、「改善しなかった」で高かったのは、沖縄県16.7%、北海道11.2%、滋賀県9.7%、「わからない」で高かったのは、富山県41.5%、三重県41.4%、和歌山県38.2%であった。

＊都道府県別データは56ページ参照

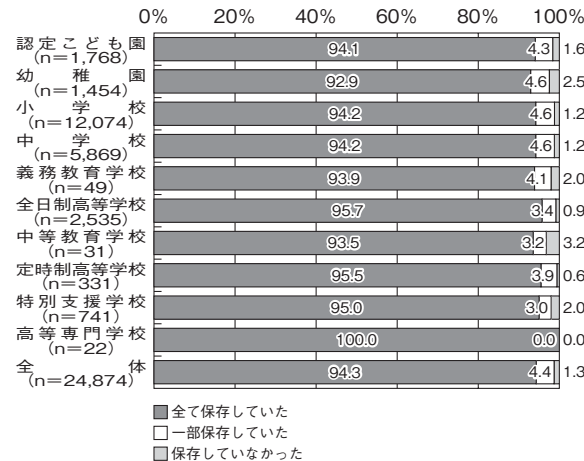
D-4 本校で検査結果の記録を保存していましたか（基準：5年間保存）

「全て保存していた」94.3%、「一部保存していた」4.4%、「保存していなかった」1.3%であった。

D-3 指導・助言によって改善しましたか。



D-4 本校で検査結果の記録を保存していましたか。（基準：5年間保存）



学校種別では、「全て保存していた」で高かったのは、全日制高等学校95.7%、定時制高等学校95.5%、特別支援学校95.0%、「一部保存していた」で高かったのは、幼稚園、小学校及び中学校が4.6%、「保存していなかった」で高かったのは、幼稚園2.5%、特別支援学校2.0%、認定こども園1.6%であった。

都道府県別では、「全て保存していた」で高かったのは、新潟県98.9%、香川県98.8%、千葉県98.3%、「一部保存していた」で高かったのは、岡山県15.9%、福岡県11.6%、熊本県11.2%、「保存していなかった」で高かったのは、青森県11.6%、岡山県8.9%、福岡県6.0%であった。

*都道府県別データは57ページ参照

**E. 2019年度における教室等の環境の
日常点検の実施状況について、全ての
学校にお聞きします。**

E－1 以下の項目について点検を行いましたか。

「不快な刺激や臭気の有無」53.2%、「換気の実施状況」70.0%、「温度」67.1%、「行わなかった」19.3%であった。

学校種別では、「不快な刺激や臭気の有無」で高かったのは、特別支援学校56.4%、小学校54.7%、中学校53.9%、「換気の実施状況」で高かったのは、中学校72.3%、小学校71.6%、特別支援学校68.8%、「温度」で高かったのは、特別支援学校71.8%、小学校69.2%、中学校67.1%、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園25.6%、認定こども園24.3%、定時制高等学校23.6%であった。

都道府県別では、「不快な刺激や臭気の有無」で高かったのは、宮崎県80.3%、岐阜県70.2%、熊本県63.5%、「換気の実施状況」で高かった

E－1 以下の項目について点検を行いましたか。(複数回答可)

	1. 不快な刺激や臭気の有無	2. 換気の実施状況	3. 温度	4. 行わなかった
認定こども園(n=2,580)	48.2	64.1	65.1	24.3
幼稚園(n=2,310)	49.5	63.5	61.8	25.6
小学校(n=15,712)	54.7	71.6	69.2	18.0
中学校(n=7,678)	53.9	72.3	67.1	18.0
義務教育学校(n=70)	57.1	80.0	77.1	5.7
全日制高等学校(n=3,006)	50.8	67.3	61.6	21.1
中等教育学校(n=38)	42.1	73.7	68.4	21.1
定時制高等学校(n=415)	50.4	63.4	57.8	23.6
特別支援学校(n=917)	56.4	68.8	71.8	17.2
高等専門学校(n=26)	30.8	50.0	42.3	38.5
全 体 (n=32,752)	53.2	70.0	67.1	19.3

のは、宮城県86.2%、宮崎県81.6%、岐阜県81.4%、「温度」で高かったのは、宮崎県88.1%、福島県81.7%、宮城県81.4%、「行わなかった」で高かったのは、北海道37.9%、和歌山県36.5%、福岡県32.4%であった。

＊都道府県別データは58ページ参照

E-2 本校で日常点検結果の記録を保存して いましたか(基準：3年間保存するよう努める)

「全て保存していた」56.0%、「一部保存していた」21.8%、「保存していない」22.2%であった。

学校種別では、「全て保存していた」で高かったのは、認定子ども園60.9%、特別支援学校60.1%、小学校56.2%、「一部保存していた」で高かったのは、中学校23.1%、全日制高等学校21.8%、小学校21.7%、「保存していない」で高かったのは、定時制高等学校27.5%、幼稚園25.3%、全日制高等学校23.9%であった。

都道府県別では、「全て保存していた」で高かったのは、山口県87.3%、岐阜県83.2%、愛知県83.1%、「一部保存していた」で高かったのは、鹿児島県37.5%、佐賀県37.2%、福島県37.1%、「保存していない」で高かったのは、和歌山県43.0%、徳島県39.7%、岩手県39.2%であった。

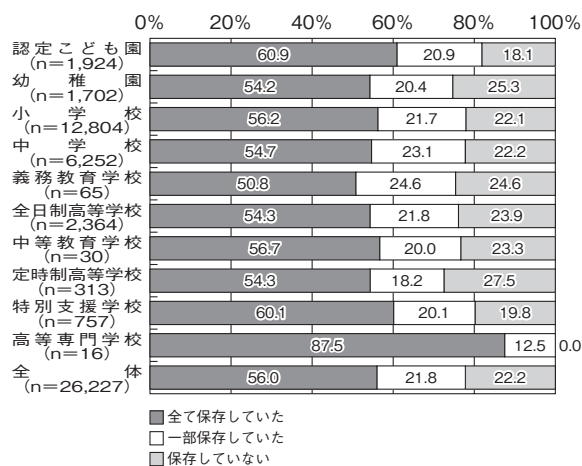
＊都道府県別データは59ページ参照

Ⅳ. まとめ

学校薬剤師の年代・職場は、ほぼ例年通りで、60歳代25.9%、50歳代25.6%、40歳代22.1%が多く、薬局（開設者）と薬局（勤務者）を合わせると86.7%であった。日本薬剤師会の会員は、93.7%で、昨年より0.1%増加した。

学校保健計画の作成にあたり、学校薬剤師

E-2 本校で日常点検結果の記録を保存して いましたか(基準：3年間保存するよう努める)



に、学校から確認要請が「あった」22.7%、「なかった」77.3%、その学校保健計画に学校環境衛生検査の記載が「全ての項目について記載がある」38.7%（昨年度36.6%）であった。「一部の検査項目しか記載がなかった」24.2%及び「まったく記載がなかった」1.6%で、その学校に対して、「問い合わせをしなかった」90.6%であった。また、「（記載があったか）わからない」35.5%で、昨年と大幅な変動はない。学校保健安全法施行規則第24条(1)学校保健計画及び学校安全計画の立案に参加することになっているので、学校薬剤師の職務執行の準則を踏まえて従事すべきである。

学校環境衛生検査の実施状況については、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」35.4%（昨年度34.2%）、「一部実施できなかった項目があった」61.9%（昨年度63.5%）、「まったく実施していない」2.6%（昨年度2.3%）であった。また、「一部実施できなかった項目がある」及び「まったく実施していない」理由として、一番高かったのは、「計画がなかった」56.5%、「器具が足りない」37.8%、「予算が足りない」17.2%、「時間の都合がつかなかった」11.4%であった。都道府県別では、「全ての検査を実施した」で高かったのは、愛知県68.4%、神奈川県63.5%、奈良県57.3%、「まったく実施していない」で高かったのは、群馬県14.9%、佐賀県13.0%、島根県10.7%であった。

学校環境衛生基準は、学校保健安全法の第6条に規定されており、文部科学大臣告示であり、学校における換気、採光、照明、保温、清潔保持その他環境衛生に係る事項について、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準であることを改めて学校の設置者に理解してもらい、学校保健計画の作成時に、記載してもらう必要があると考えられる。

出校日数は、メール、電話対応及び給食センター立ち入り検査を含んでも、「0日」1.0%（昨年度1.1%）で、毎年若干減ってきているが0%には至っていない。出校日数「0日」は、認定こども園3.1%（昨年度5.1%）、幼稚園2.3%（昨年度3.0%）、小学校0.7%（昨年度0.7%）、中学校0.8%（昨年度0.8%）、全日制高等学校0.7%（昨年度0.4%）、定時制高等学校1.0%（昨年度1.0%）、特別支援学校0.4%（昨年度0.2%）であった。地域により実情があるかと思うが、学校薬剤師の委嘱を受けた以上、学校保健安全法に基づき、学校環境衛生基準に示された定期検査を実施することで、実態を定期的に把握し、学校環境衛生の維持管理に寄与しなければならない。

2019年度における当該校の1年間の報酬は、集計上7つの区分で整理したが、「11～15万円」が一番高く27.5%、「6～10万円」26.4%、「1～5万円」21.2%、「21～30万円」12.9%、「16～20万円」8.5%、「31～99万円」2.1%、「0万円」1.4%であった。

学校種別で「0万円」で高かったのは、幼稚園5.4%、定時制高等学校3.8%、認定こども園3.7%、「31～99万円」で高かったのは、小学校及び中学校が2.5%、幼稚園が1.6%であった。詳細については、県別集計も参考にして頂きたい。

換気（二酸化炭素）の検査については、「2回以上行った」34.9%、「1回行った」44.6%で、測定器は、約8割が検知器（検知管）を用いていた。

温度の検査については、「2回以上行った」47.1%、「1回行った」33.4%で、測定器は、「0.5度目盛の温度計（デジタル表示）」53.9%、「0.5度目盛の温度計（非デジタル表示）」30.7%であった。

相対湿度の検査については、「2回以上行った」39.2%、「1回行った」28.3%で、測定器は、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（デジタル表

示)」52.5%、「0.5度目盛の乾湿球湿度計（非デジタル表示）」28.2%であった。

温度、湿度又は流量を調節する設備（ファンヒーターも含む）を使用している場合は、浮遊粉じんと気流の定期検査を行わなくてはならないことを「知っている」56.9%、「知らなかった」43.1%であった。また、浮遊粉じんの検査の結果が著しく基準値を下回る場合は、次回から検査を省略することができることを「知っている」47.2%、「知らなかった」52.8%で、今回の調査で周知できたと考えられる。

温度、湿度又は流量を調節する設備を「使用している」73.7%、「使用していない」26.3%であった。

浮遊粉じんの検査は、「2回以上行った」13.5%、「1回行った」11.7%で、85.3%が「相対濃度計」で行っていた。「省略規定により行わなかった」12.1%、「行わなかった」62.7%で、「行わなかった」で高かったのは、認定こども園69.6%、幼稚園68.0%、中学校63.5%であった。

気流の検査については、「2回以上行った」20.4%、「1回行った」13.1%で、76.0%が「微風速計」で行っていた。「行わなかった」66.5%で、「行わなかった」で高かったのは、幼稚園71.4%、認定こども園70.3%、中学校67.1%であった。

燃焼器具を「使用している」36.4%、「使用していない」63.6%であった。

一酸化炭素の検査については、「2回以上行った」9.6%、「1回行った」35.9%で、93.5%が「検知管法」で行っていた。「行わなかった」で高かったのは、認定こども園73.6%、幼稚園60.8%、中学校56.0%であった。

二酸化窒素の検査については、「2回以上行った」7.8%、「1回行った」28.4%で、53.8%が「検知管法」で行っていた。「行わなかった」で高かったのは、認定こども園79.3%、幼稚園

68.1%、中学校64.6%であった。

不適合であった項目についての問いでは、「二酸化炭素」26.4%、「温度」5.5%、「相対湿度」3.6%、「浮遊粉じん」0.8%、「気流」1.0%、「一酸化炭素」0.9%、「二酸化窒素」1.9%となり、不適合項目についての指導・助言については、「全て行った」87.7%、「一部行った」10.1%、「行わなかった」2.2%であった。また、指導・助言によって、「全て改善した」41.4%、「一部改善した」32.1%、「改善しなかった」3.4%、「わからない」23.0%であった。

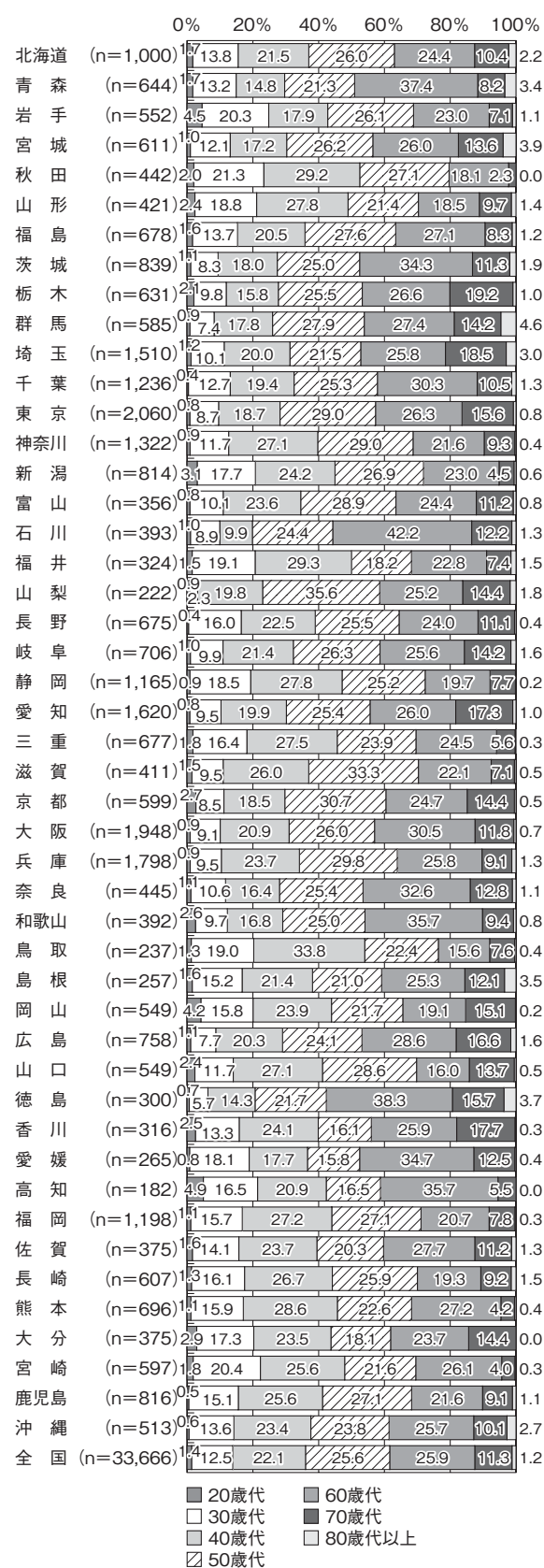
学校環境衛生検査の検査結果は、5年間の保存が基準になっているので、それらにつき、全て保存していない学校に指導して頂きたい。

教室等の環境の日常点検の実施状況は、「不快な刺激や臭気の有無」53.2%、「換気の実施状況」70.0%、「温度」67.1%、「行わなかった」19.3%であった。学校環境衛生の維持を図るため、日常点検も重要な事項なので、学校薬剤師は、訪問時には、必ず確認し、3年間保存して頂きたい。

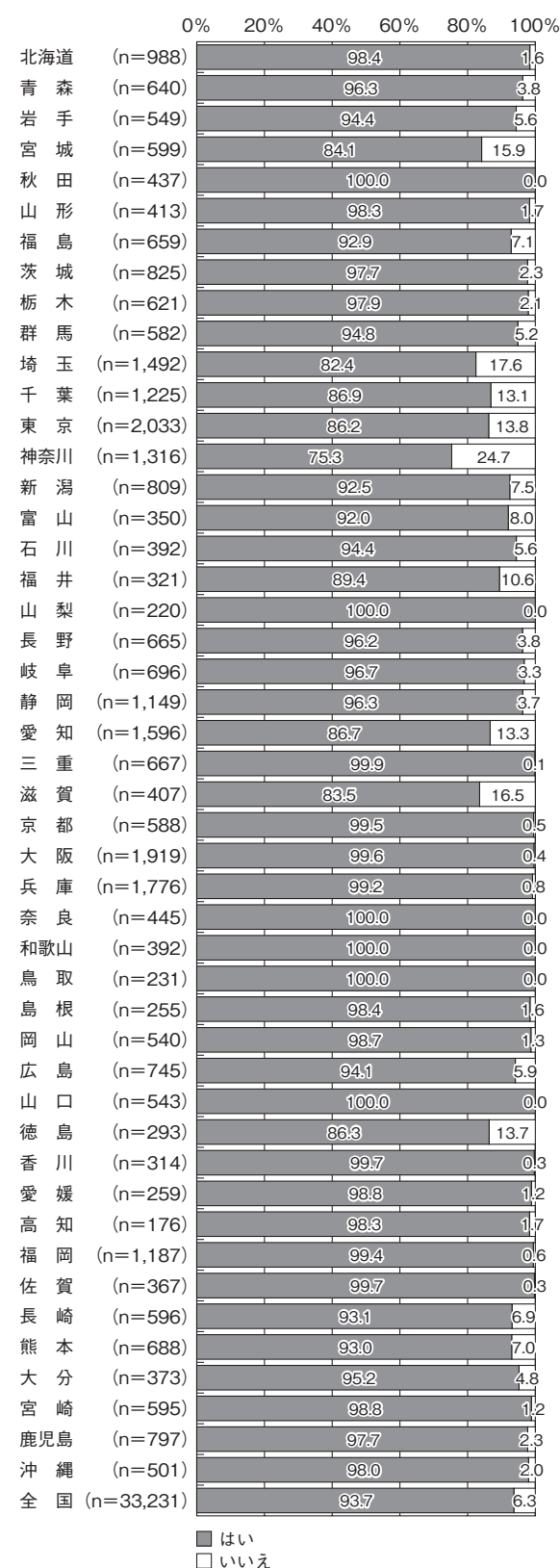
V. 終わりに

本調査を実施するにあたり、ご指導とご協力を賜りました文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課健康教育調査官並びに各都道府県市町村等の教育委員会に深く感謝いたします。

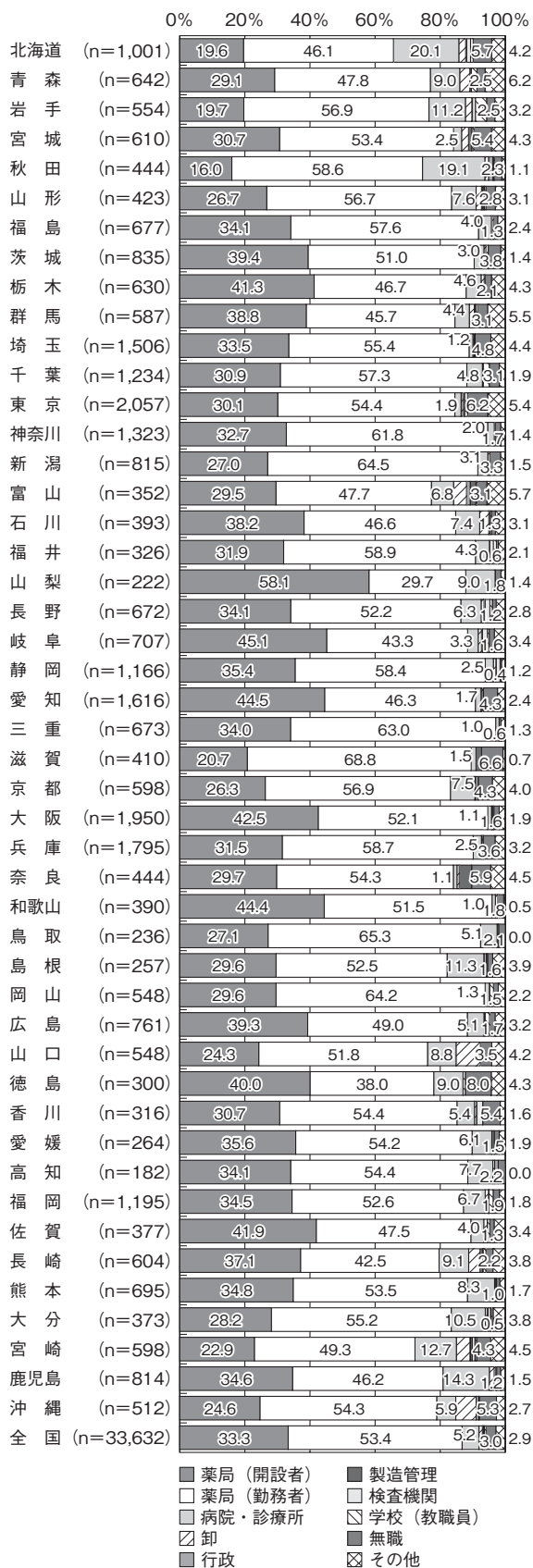
1-1 年齢は何歳代ですか。



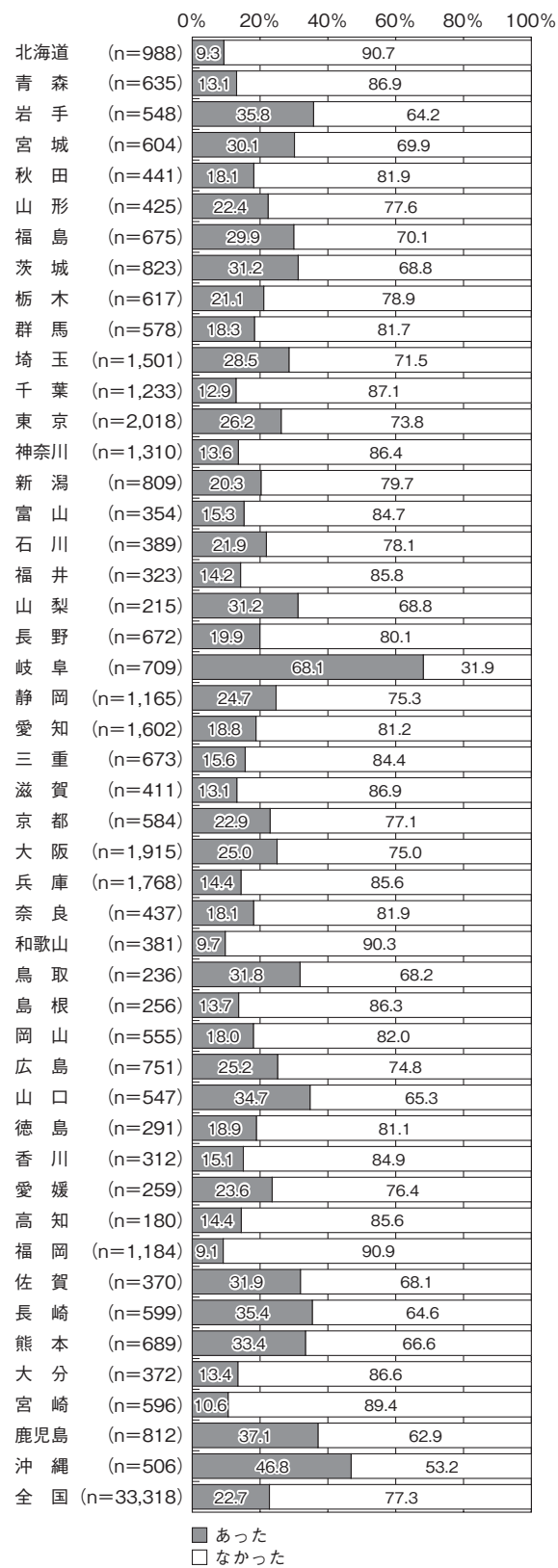
1-2 日本薬剤師会の会員ですか。



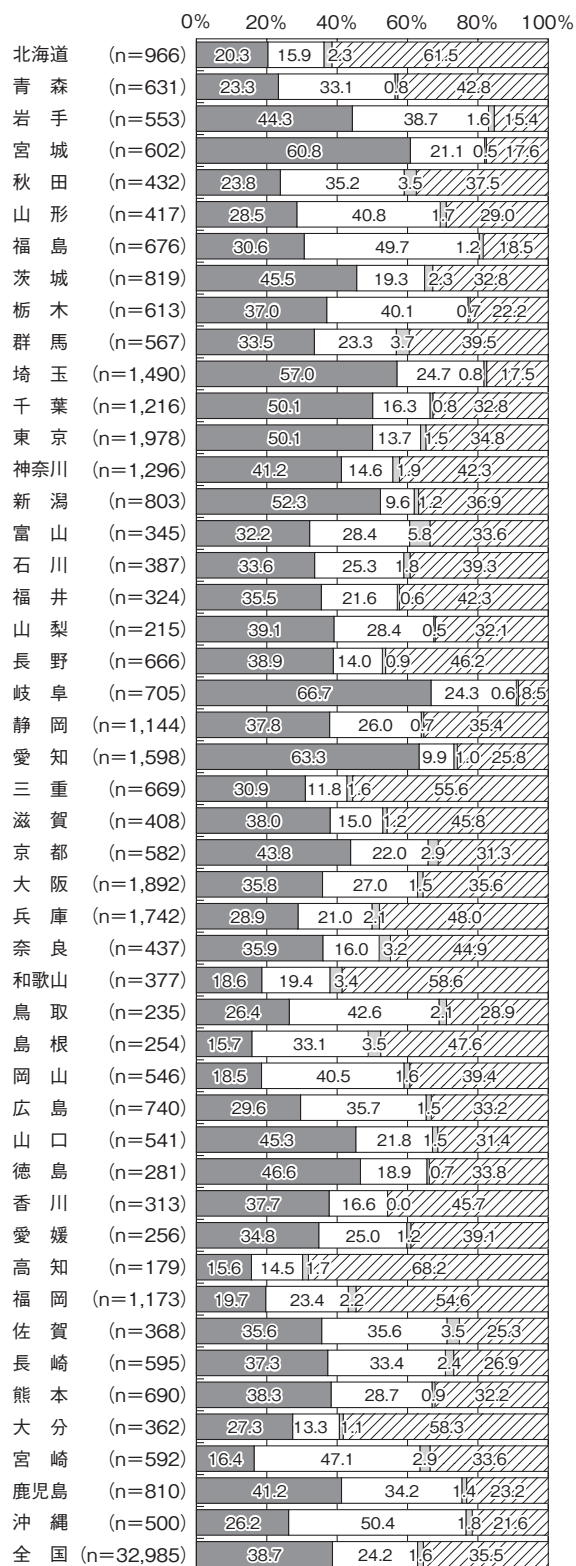
1-3 本務の職場はどこですか。



1-4 学校保健計画の作成にあたり、学校から確認要請がありましたか。

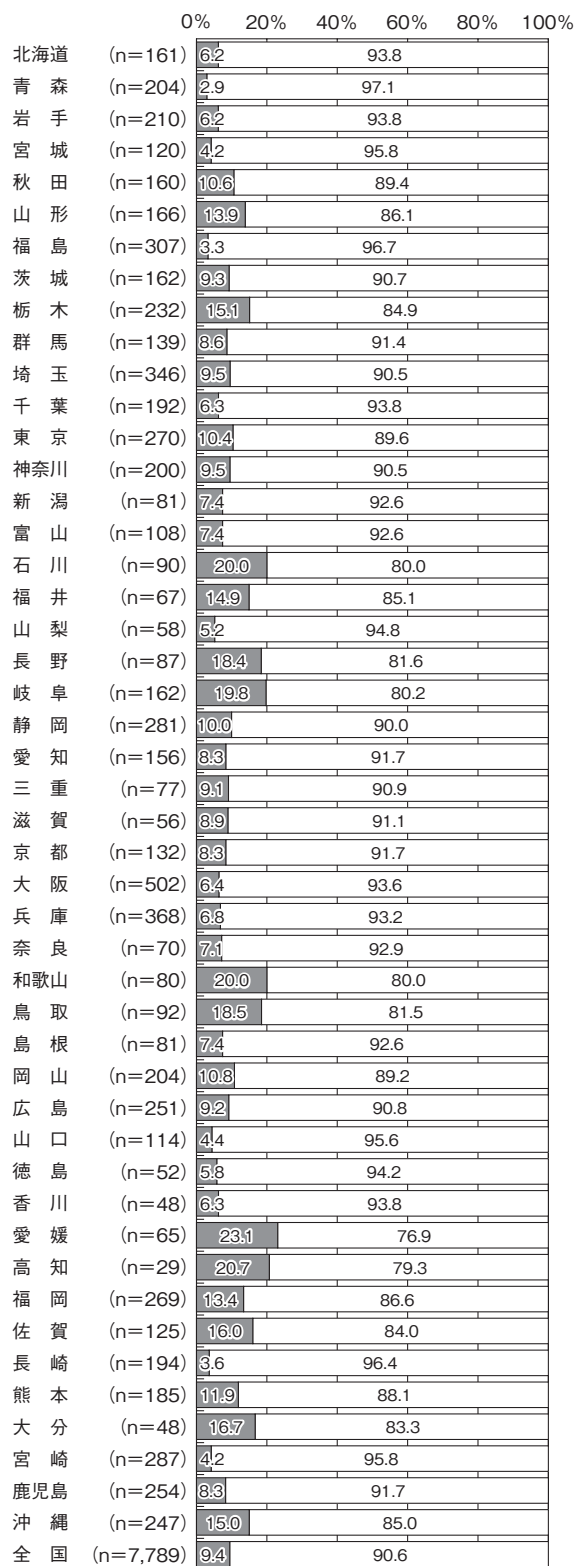


1-5 学校保健計画に学校環境衛生検査の記載がありましたか。



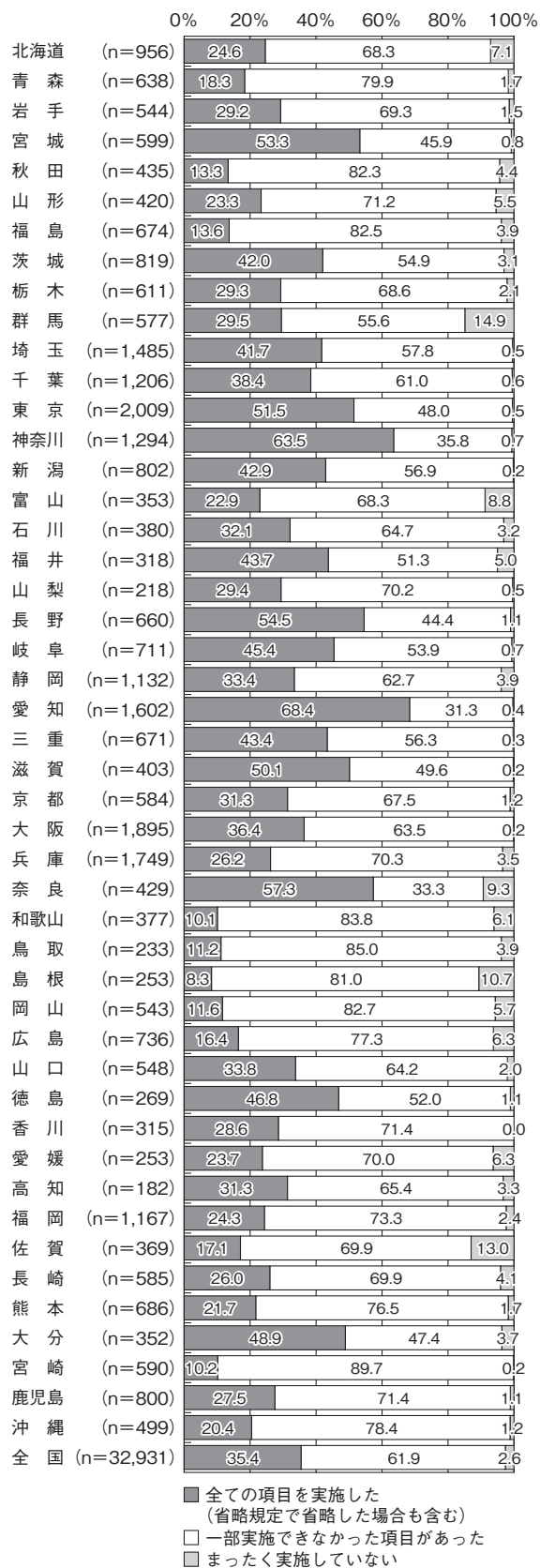
■ 全ての検査項目について記載があった
□ 一部の検査項目しか記載がなかった
■ まったく記載がなかった
▨ わからない

1-6 1-5で②及び③に印をつけた人にお聞きします。一部又は全部の検査項目の記載がないことについて問合せはしましたか。



■ した
□ しなかった

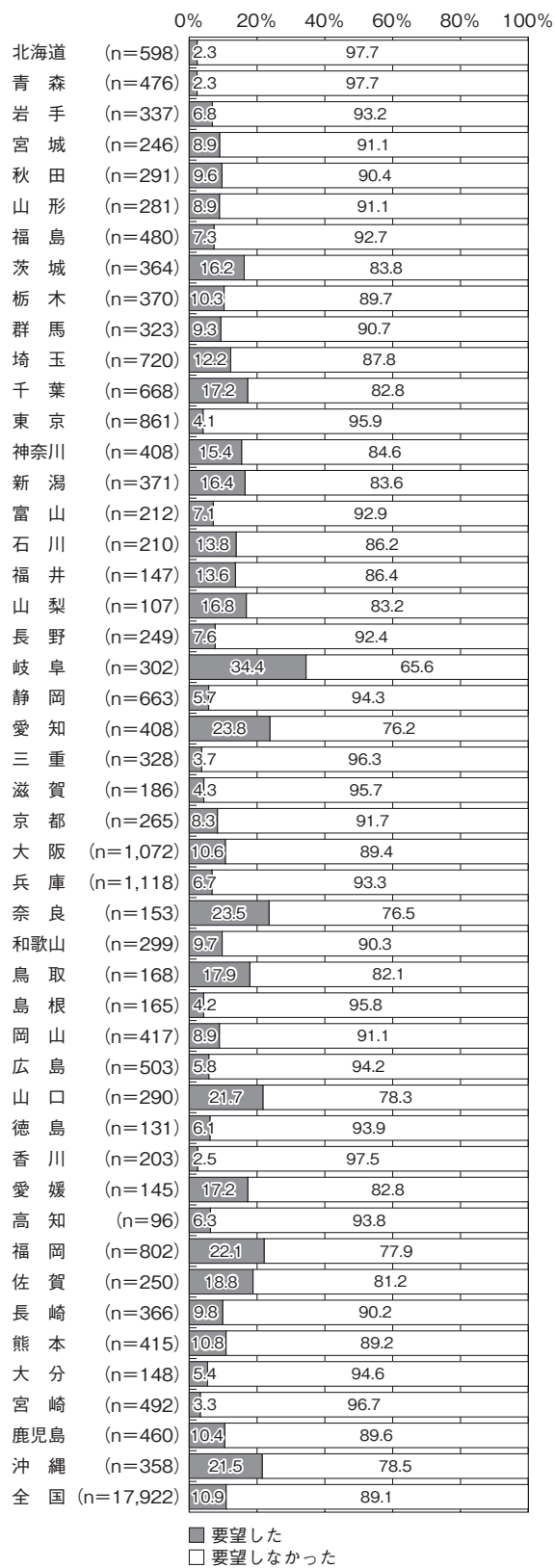
1-7 学校環境衛生検査は、学校環境衛生基準に定められた全項目を実施しましたか。



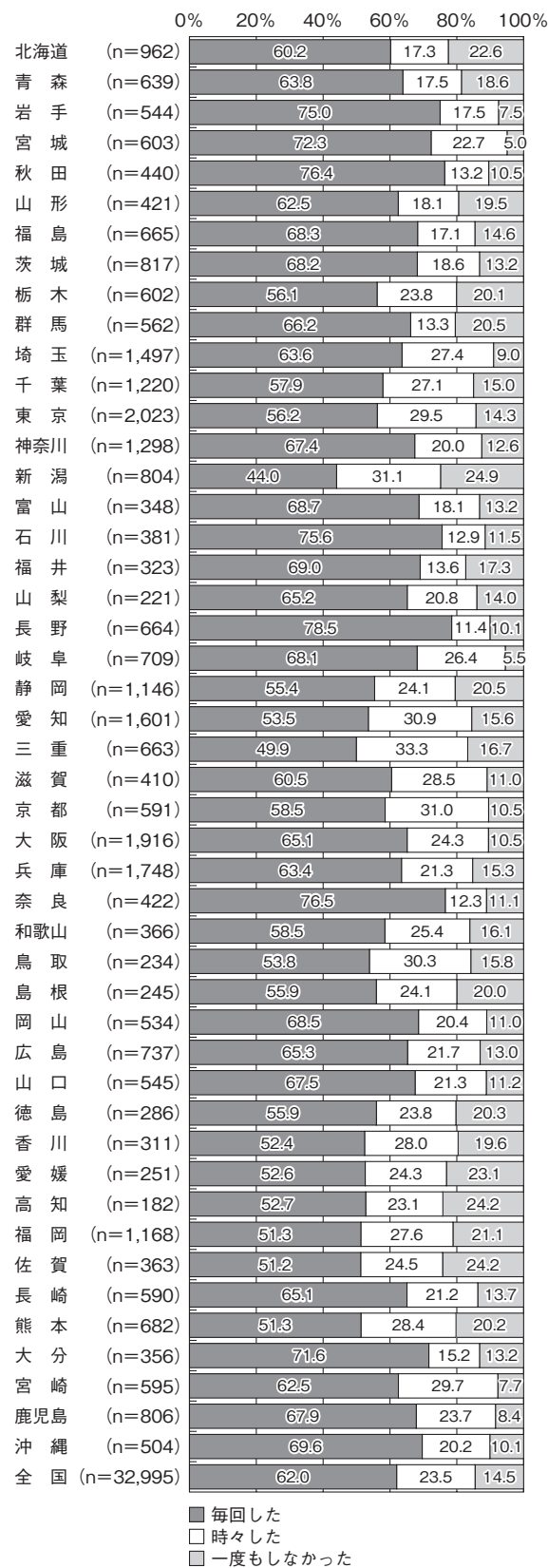
1-8 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きします。全項目実施できなかった理由は何ですか。(複数回答可)

	1. 器具が足りない	2. 予算が足りない	3. 計画がなかった	4. 時間の都合が つかなかった	5. その他
北海道(n=693)	23.1	10.0	58.2	18.8	17.6
青 森(n=515)	25.4	10.1	50.3	6.6	32.0
岩 手(n=382)	47.6	6.8	48.7	12.0	15.2
宮 城(n=275)	29.5	17.1	73.8	3.6	16.4
秋 田(n=368)	35.1	9.2	48.1	30.4	19.0
山 形(n=307)	33.9	16.0	62.5	18.9	15.0
福 島(n=575)	39.8	10.6	51.5	28.3	13.0
茨 城(n=456)	51.5	14.0	38.8	11.8	15.4
栃 木(n=418)	43.3	22.0	57.4	13.4	10.8
群 馬(n=392)	47.7	25.3	44.1	7.7	15.3
埼 玉(n=849)	43.6	17.9	46.9	13.3	19.1
千 葉(n=730)	17.4	15.2	80.1	1.6	15.5
東 京(n=947)	45.3	17.1	66.0	2.5	9.9
神奈川(n=462)	38.3	5.8	61.7	5.0	17.5
新 潟(n=455)	79.6	14.7	18.9	3.1	12.7
富 山(n=261)	22.6	6.9	64.8	12.3	13.0
石 川(n=249)	19.3	7.2	64.3	10.8	14.9
福 井(n=175)	33.7	10.3	60.6	12.6	11.4
山 梨(n=145)	26.9	11.0	41.4	26.2	22.1
長 野(n=286)	26.9	16.4	60.1	11.2	16.1
岐 阜(n=382)	50.8	27.0	27.0	14.7	16.8
静 岡(n=733)	49.4	11.1	67.1	8.6	9.5
愛 知(n=492)	53.9	14.6	42.9	4.9	12.4
三 重(n=371)	41.0	20.2	69.3	1.1	11.1
滋 賀(n=195)	22.6	21.5	73.8	0.5	10.8
京 都(n=398)	57.5	4.5	36.4	12.6	10.6
大 阪(n=1,171)	25.7	17.3	76.1	3.6	15.8
兵 庫(n=1,260)	27.5	17.5	72.7	6.7	9.0
奈 良(n=180)	43.9	18.3	45.6	1.1	14.4
和歌山(n=326)	19.3	38.7	69.9	6.4	8.6
鳥 取(n=202)	55.0	17.8	52.5	17.8	13.4
島 根(n=226)	25.2	6.6	38.9	38.5	21.2
岡 山(n=472)	26.9	23.9	70.8	18.2	11.7
広 島(n=603)	45.4	11.6	58.0	9.5	16.4
山 口(n=353)	41.6	15.6	38.8	21.8	15.6
徳 島(n=141)	5.0	34.8	63.8	8.5	10.6
香 川(n=221)	60.6	4.1	37.6	4.5	4.1
愛 媛(n=184)	46.7	4.3	27.2	31.0	19.6
高 知(n=121)	29.8	6.6	46.3	30.6	26.4
福 岡(n=862)	36.4	29.7	76.8	8.6	10.3
佐 賀(n=292)	32.9	32.2	49.3	11.0	15.8
長 崎(n=427)	35.1	16.9	60.0	18.5	10.3
熊 本(n=520)	50.4	27.3	37.1	25.8	13.7
大 分(n=173)	23.1	4.6	63.0	9.8	15.0
宮 崎(n=525)	46.3	32.2	30.3	6.1	36.6
鹿児島(n=567)	31.7	21.5	46.7	21.2	14.5
沖 縄(n=389)	42.7	34.7	51.7	11.3	5.4
全 国(n=20,726)	37.8	17.2	56.5	11.4	14.6

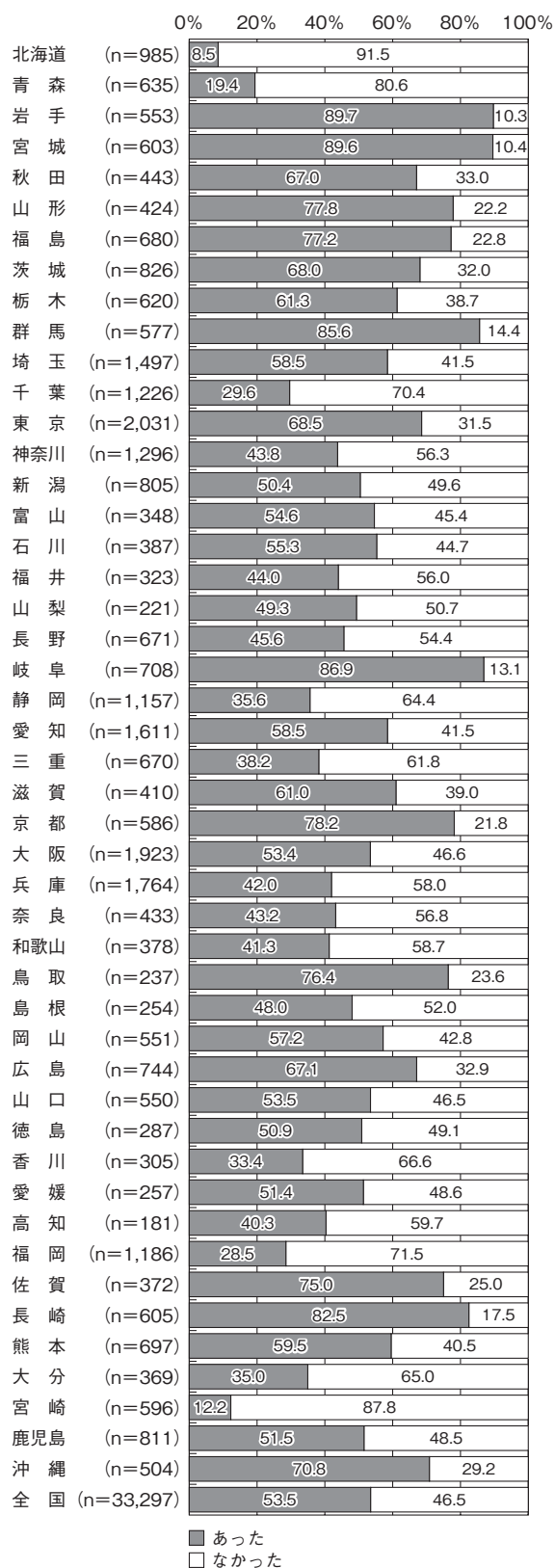
1-9 1-7で②及び③に印をつけた人にお聞きます。実施できていない項目の実施を要望しましたか。



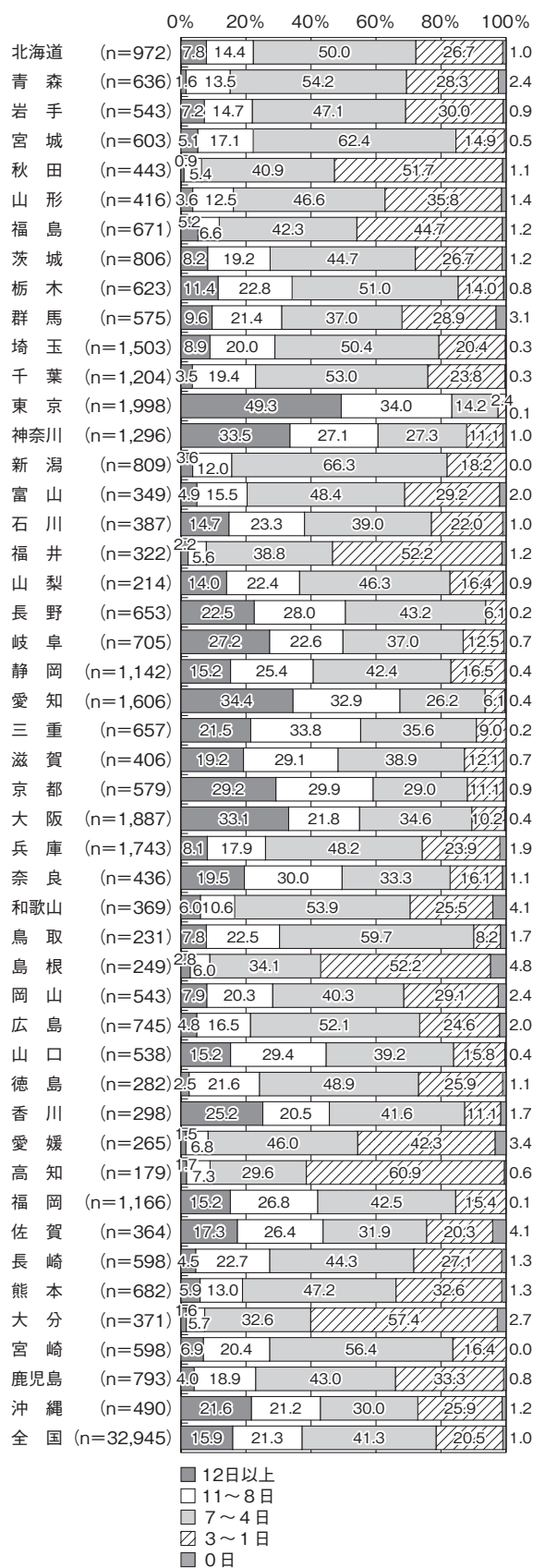
1-10 学校環境衛生検査の結果を校長等管理職に直接報告しましたか。



1-11 学校保健委員会への出席要請がありましたか。



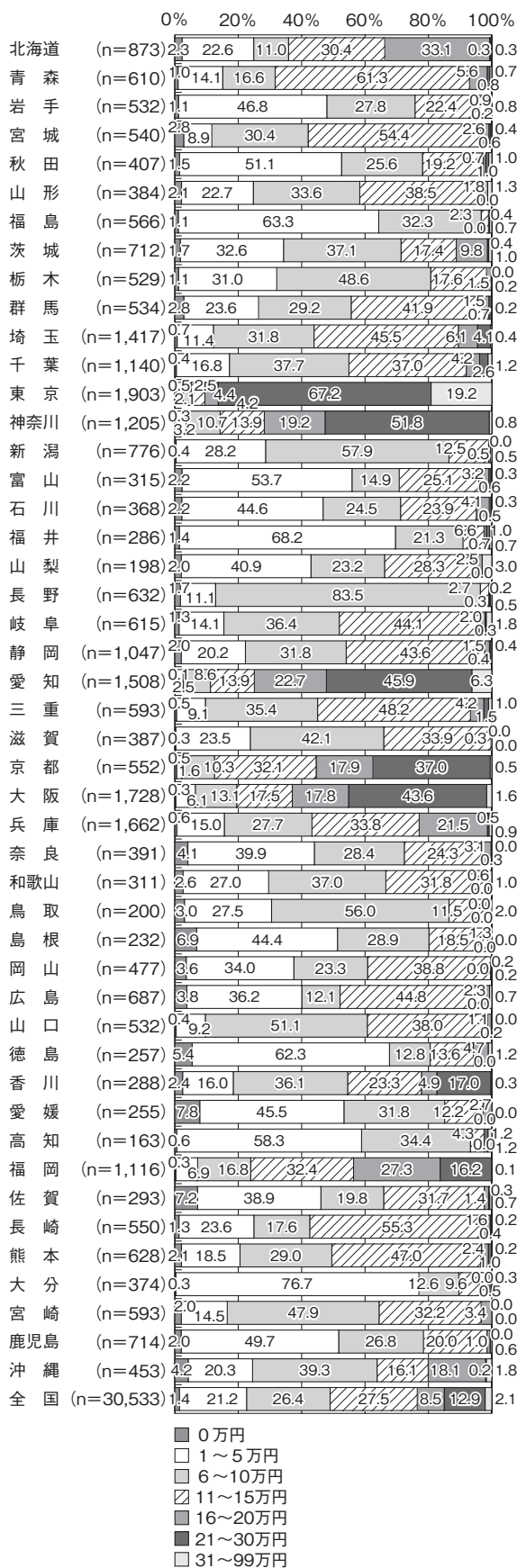
1-12 2019年度における出校日数は何日ですか。(メール、電話応対及び給食センター立ち入り検査も含む)



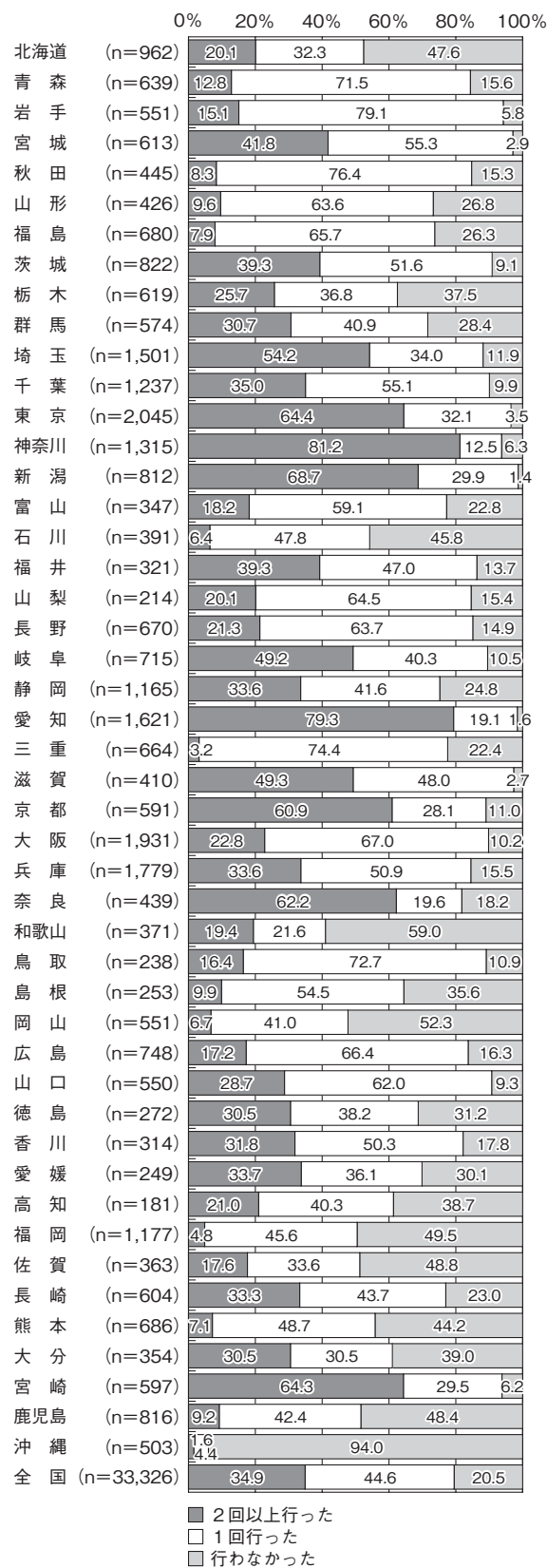
1-13 出校した人にお聞きします。出校目的は何ですか。(複数回答可)

	1. 定期検査	2. 臨時検査	3. 学校保健委員会 への参画	4. 保健教育に関する 講話・講演及び 支援	5. その他
北海道(n=958)	97.6	8.0	4.0	6.9	15.6
青 森(n=617)	99.4	12.2	7.6	22.9	13.1
岩 手(n=535)	96.3	4.3	69.3	65.4	10.5
宮 城(n=597)	99.3	6.7	68.0	37.0	21.1
秋 田(n=438)	91.6	8.0	47.0	34.2	20.5
山 形(n=407)	87.0	10.3	56.3	24.6	32.7
福 島(n=659)	88.0	6.1	55.1	27.8	15.5
茨 城(n=786)	97.7	6.4	49.6	20.9	25.2
栃 木(n=611)	97.5	13.4	38.8	20.9	41.9
群 馬(n=551)	81.7	6.7	71.3	18.1	40.7
埼 玉(n=1,487)	97.0	6.0	29.6	18.8	18.8
千 葉(n=1,188)	99.2	3.5	12.9	13.6	11.4
東 京(n=1,979)	99.3	13.5	46.0	29.9	19.1
神奈川(n=1,276)	98.8	13.2	23.0	22.3	20.5
新 潟(n=808)	99.3	8.7	21.5	26.5	10.5
富 山(n=339)	87.3	8.3	33.3	24.2	35.4
石 川(n=380)	97.6	8.7	41.3	32.9	33.9
福 井(n=317)	94.6	3.2	19.9	35.6	19.6
山 梨(n=211)	97.6	12.8	30.3	17.1	19.9
長 野(n=646)	99.2	13.2	22.1	36.1	23.8
岐 阜(n=698)	97.0	14.5	77.2	45.7	27.2
静 岡(n=1,134)	89.9	9.2	19.2	69.5	20.4
愛 知(n=1,588)	98.9	13.0	43.8	15.4	23.7
三 重(n=651)	99.8	8.1	31.3	24.1	28.4
滋 賀(n=400)	100.0	8.3	41.0	19.5	24.5
京 都(n=569)	98.8	12.0	59.9	27.1	17.0
大 阪(n=1,867)	99.4	19.0	33.6	38.6	17.6
兵 庫(n=1,701)	97.0	9.2	28.6	10.8	20.5
奈 良(n=430)	93.5	8.4	32.8	27.4	39.3
和歌山(n=351)	94.9	11.1	25.6	23.6	21.4
鳥 取(n=224)	96.0	10.7	67.0	21.4	25.0
島 根(n=237)	87.3	9.3	20.3	23.2	30.0
岡 山(n=523)	92.0	17.6	40.5	31.2	31.4
広 島(n=728)	93.5	10.4	54.7	39.7	15.7
山 口(n=533)	99.1	10.7	34.0	31.1	20.5
徳 島(n=275)	99.3	5.8	21.1	17.1	9.1
香 川(n=290)	99.3	13.4	19.0	10.7	20.3
愛 媛(n=255)	86.7	5.1	37.3	20.4	22.0
高 知(n=177)	95.5	2.8	27.1	18.6	12.4
福 岡(n=1,158)	98.3	10.4	18.1	29.9	19.1
佐 賀(n=345)	89.6	15.4	62.6	43.5	22.9
長 崎(n=580)	85.9	8.8	58.3	40.9	13.8
熊 本(n=669)	89.8	8.5	33.9	48.6	17.8
大 分(n=361)	96.7	5.8	11.9	20.8	11.1
宮 崎(n=598)	99.8	5.9	5.4	17.7	15.2
鹿児島(n=786)	97.3	7.3	30.0	49.9	12.1
沖 縄(n=480)	98.1	11.5	55.4	14.4	20.8
全 国(n=32,398)	96.2	10.1	35.5	28.3	20.6

1-14 2019年度における当該校の1年間の報酬は、いくらでしたか。(一万円単位。千円以下切り捨て)★支給額(税込み) 交通費は除く。



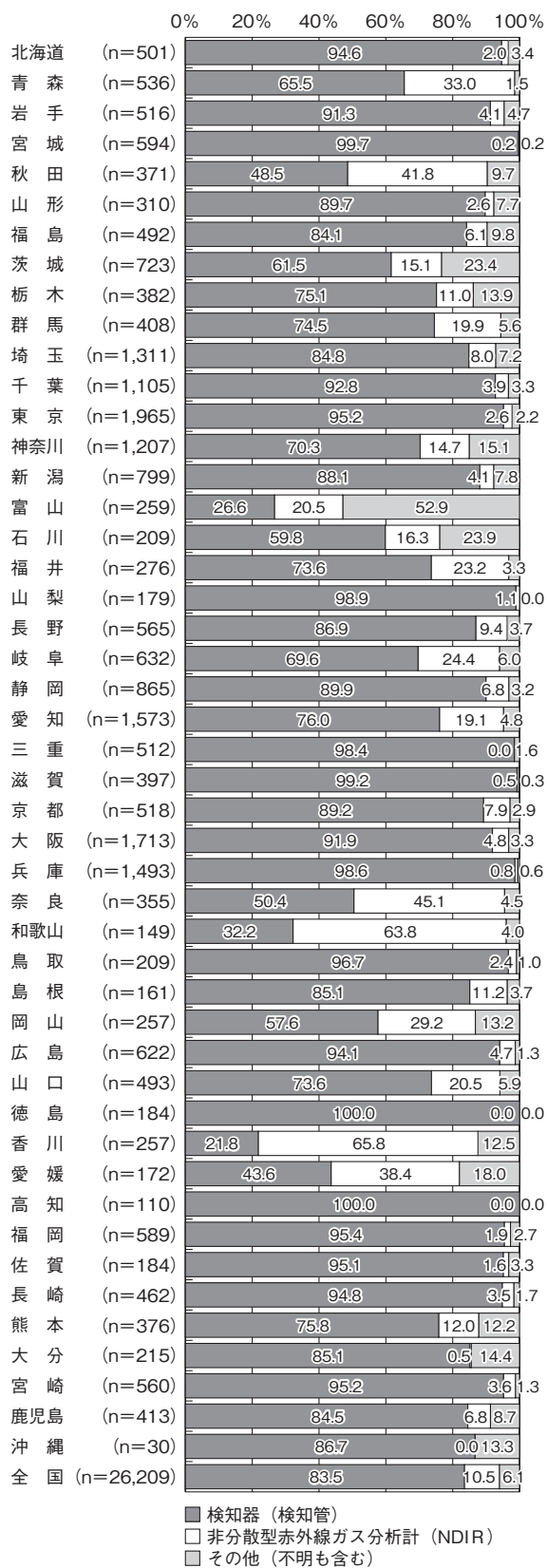
A-1 換気(二酸化炭素)の検査を何回行いましたか。



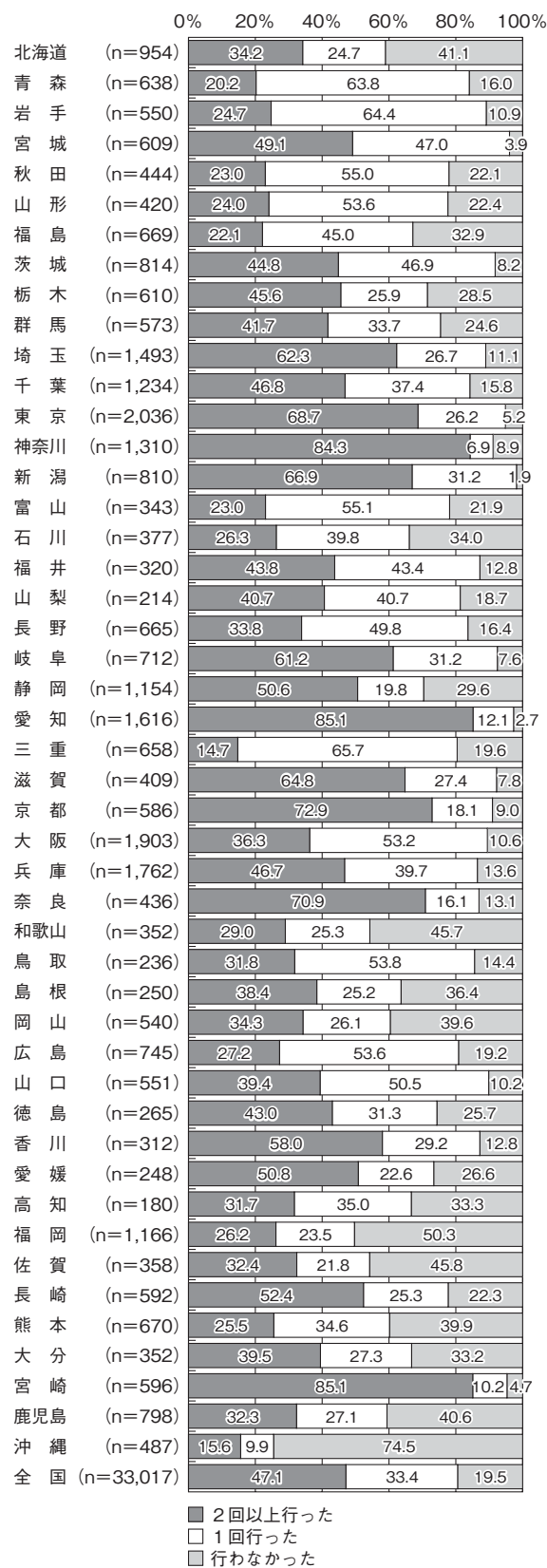
1-14 2019年度における当該校の1年間の報酬は、いくらでしたか。(一万円単位。千円以下切り捨て)★支給額(税込み)交通費は除く。

	1. 0万円	2. 1～5万円	3. 6～10万円	4. 11～15万円	5. 16～20万円	6. 21～30万円	7. 31～99万円
北海道(n=873)	2.3	22.6	11.0	30.4	33.1	0.3	0.3
青森(n=610)	1.0	14.1	16.6	61.3	5.6	0.8	0.7
岩手(n=532)	1.1	46.8	27.8	22.4	0.9	0.2	0.8
宮城(n=540)	2.8	8.9	30.4	54.4	2.6	0.6	0.4
秋田(n=407)	1.5	51.1	25.6	19.2	0.7	1.0	1.0
山形(n=384)	2.1	22.7	33.6	38.5	1.8	0.0	1.3
福島(n=566)	1.1	63.3	32.3	2.3	0.0	0.4	0.7
茨城(n=712)	1.7	32.6	37.1	17.4	9.8	0.4	1.0
栃木(n=529)	1.1	31.0	48.6	17.6	1.5	0.0	0.2
群馬(n=534)	2.8	23.6	29.2	41.9	1.5	0.7	0.2
埼玉(n=1,417)	0.7	11.4	31.8	45.5	6.1	4.1	0.4
千葉(n=1,140)	0.4	16.8	37.7	37.0	4.2	2.6	1.2
東京(n=1,903)	0.5	2.1	2.5	4.4	4.2	67.2	19.2
神奈川(n=1,205)	0.3	3.2	10.7	13.9	19.2	51.8	0.8
新潟(n=776)	0.4	28.2	57.9	12.5	0.5	0.0	0.5
富山(n=315)	2.2	53.7	14.9	25.1	3.2	0.6	0.3
石川(n=368)	2.2	44.6	24.5	23.9	4.1	0.5	0.3
福井(n=286)	1.4	68.2	21.3	6.6	0.7	1.0	0.7
山梨(n=198)	2.0	40.9	23.2	28.3	2.5	0.0	3.0
長野(n=632)	1.7	11.1	83.5	2.7	0.3	0.2	0.5
岐阜(n=615)	1.3	14.1	36.4	44.1	2.0	0.3	1.8
静岡(n=1,047)	2.0	20.2	31.8	43.6	1.5	0.4	0.4
愛知(n=1,508)	0.1	2.5	8.6	13.9	22.7	45.9	6.3
三重(n=593)	0.5	9.1	35.4	48.2	4.2	1.5	1.0
滋賀(n=387)	0.3	23.5	42.1	33.9	0.3	0.0	0.0
京都(n=552)	0.5	1.6	10.3	32.1	17.9	37.0	0.5
大阪(n=1,728)	0.3	6.1	13.1	17.5	17.8	43.6	1.6
兵庫(n=1,662)	0.6	15.0	27.7	33.8	21.5	0.5	0.9
奈良(n=391)	4.1	39.9	28.4	24.3	3.1	0.3	0.0
和歌山(n=311)	2.6	27.0	37.0	31.8	0.6	0.0	1.0
鳥取(n=200)	3.0	27.5	56.0	11.5	0.0	0.0	2.0
島根(n=232)	6.9	44.4	28.9	18.5	1.3	0.0	0.0
岡山(n=477)	3.6	34.0	23.3	38.8	0.0	0.2	0.2
広島(n=687)	3.8	36.2	12.1	44.8	2.3	0.0	0.7
山口(n=532)	0.4	9.2	51.1	38.0	1.1	0.2	0.0
徳島(n=257)	5.4	62.3	12.8	13.6	4.7	0.0	1.2
香川(n=288)	2.4	16.0	36.1	23.3	4.9	17.0	0.3
愛媛(n=255)	7.8	45.5	31.8	12.2	2.7	0.0	0.0
高知(n=163)	0.6	58.3	34.4	4.3	0.0	1.2	1.2
福岡(n=1,116)	0.3	6.9	16.8	32.4	27.3	16.2	0.1
佐賀(n=293)	7.2	38.9	19.8	31.7	1.4	0.3	0.7
長崎(n=550)	1.3	23.6	17.6	55.3	1.6	0.4	0.2
熊本(n=628)	2.1	18.5	29.0	47.0	2.4	1.0	0.2
大分(n=374)	0.3	76.7	12.6	9.6	0.0	0.5	0.3
宮崎(n=593)	2.0	14.5	47.9	32.2	3.4	0.0	0.0
鹿児島(n=714)	2.0	49.7	26.8	20.0	1.0	0.0	0.6
沖縄(n=453)	4.2	20.3	39.3	16.1	18.1	0.2	1.8
全国(n=30,533)	1.4	21.2	26.4	27.5	8.5	12.9	2.1

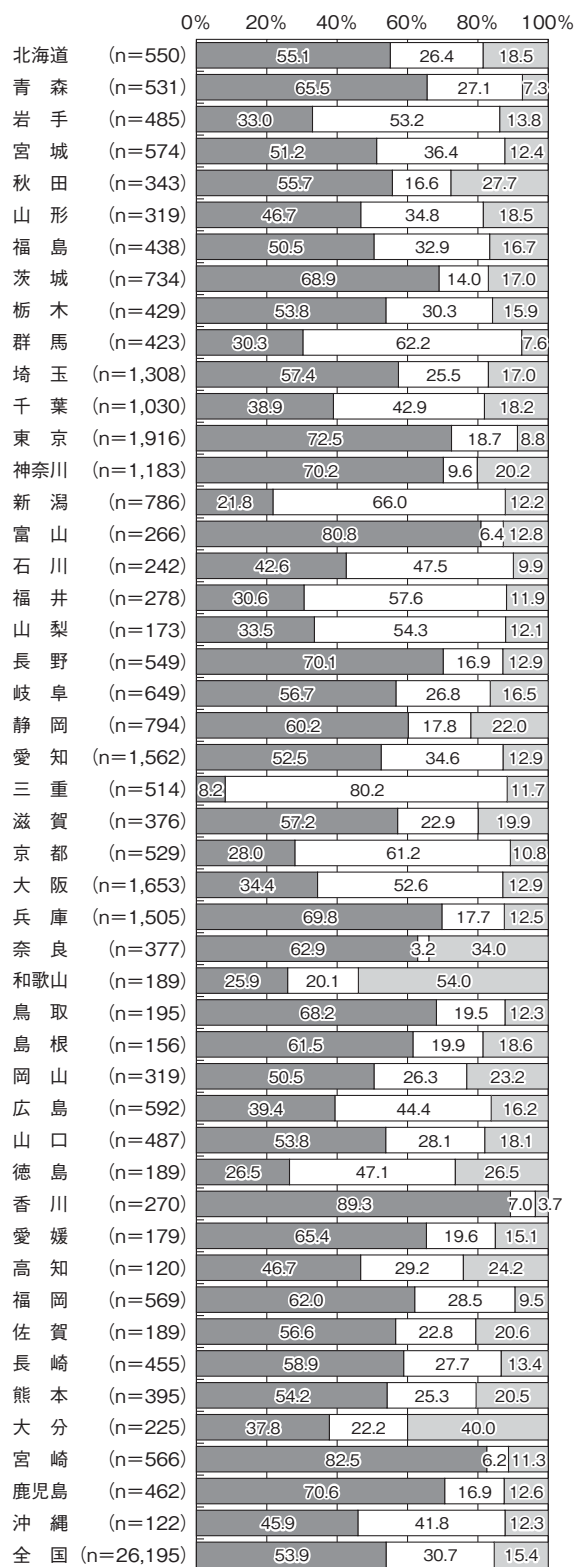
A-2 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



A-3 温度の検査を何回行いましたか。

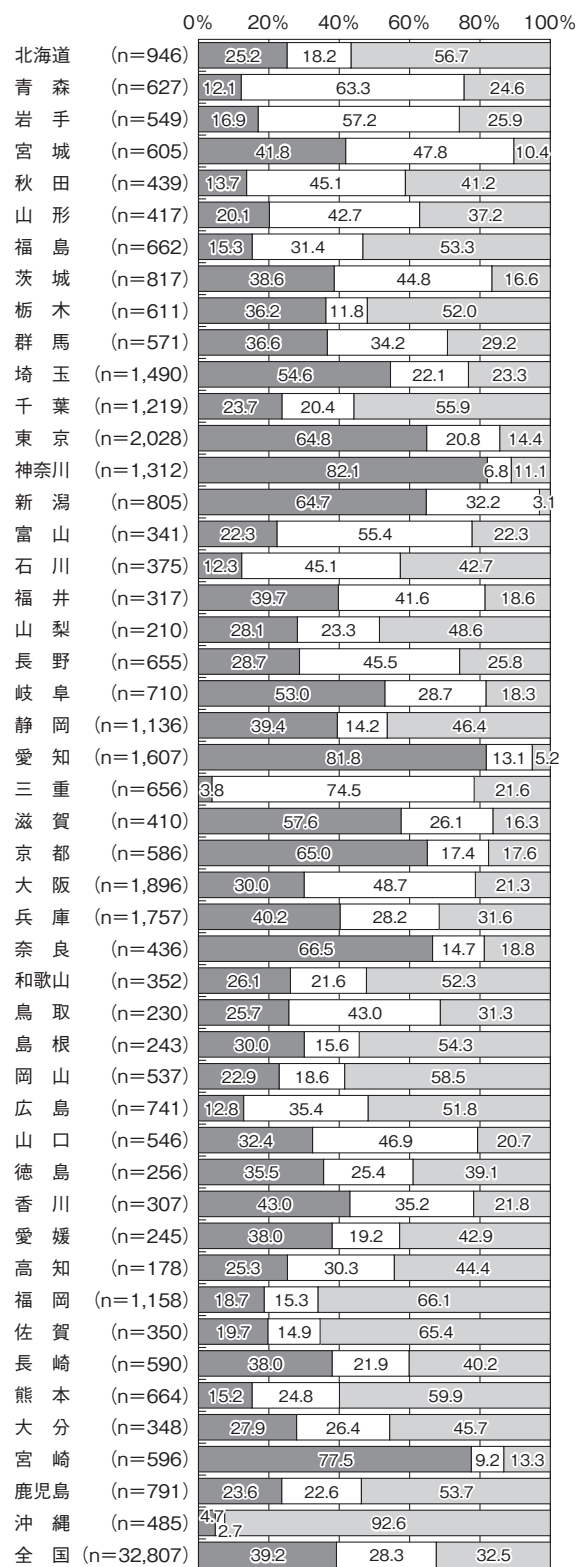


A-4 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



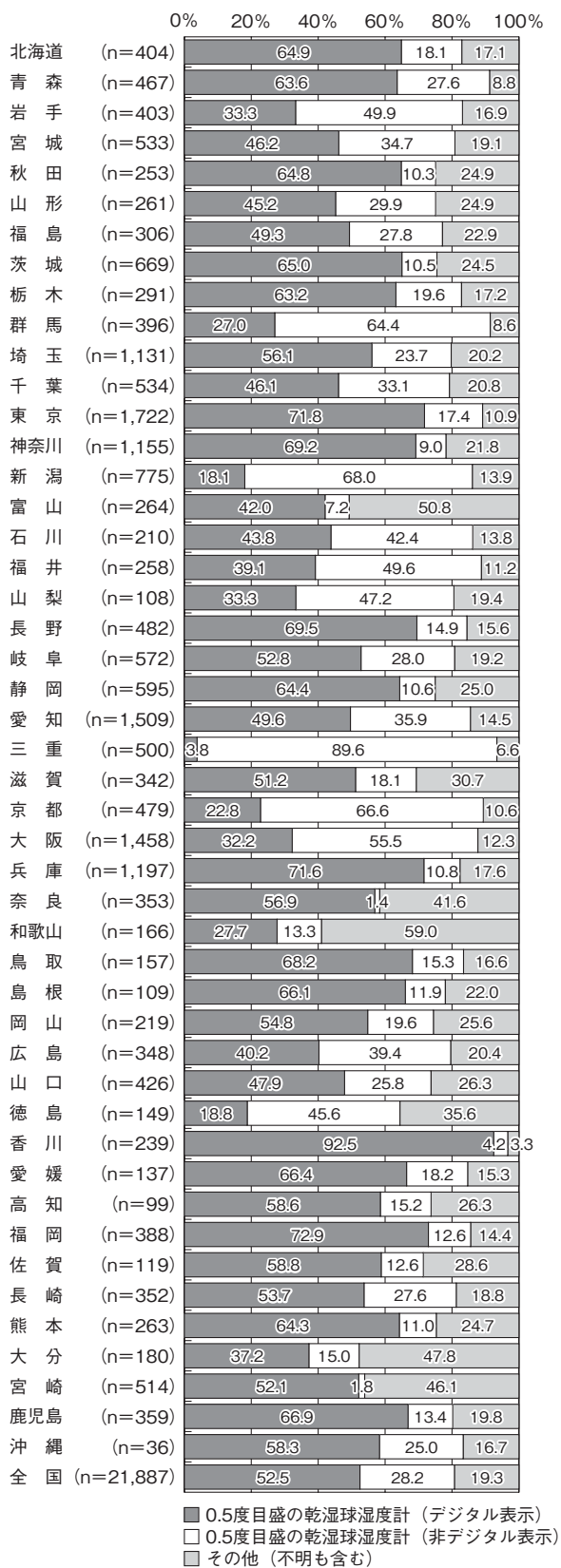
■ 0.5度目盛の温度計 (デジタル表示)
□ 0.5度目盛の温度計 (非デジタル表示)
■ その他 (不明も含む)

A-5 相対湿度の検査を何回行いましたか。

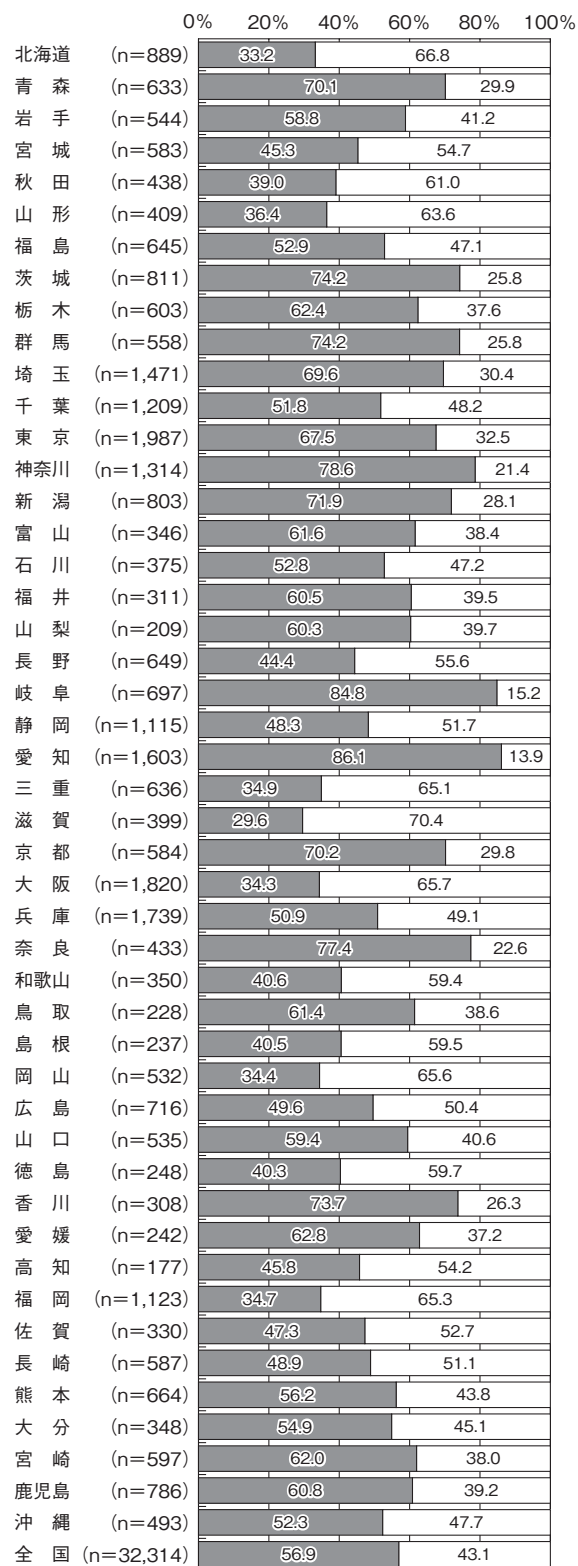


■ 2回以上行った
□ 1回行った
■ 行わなかった

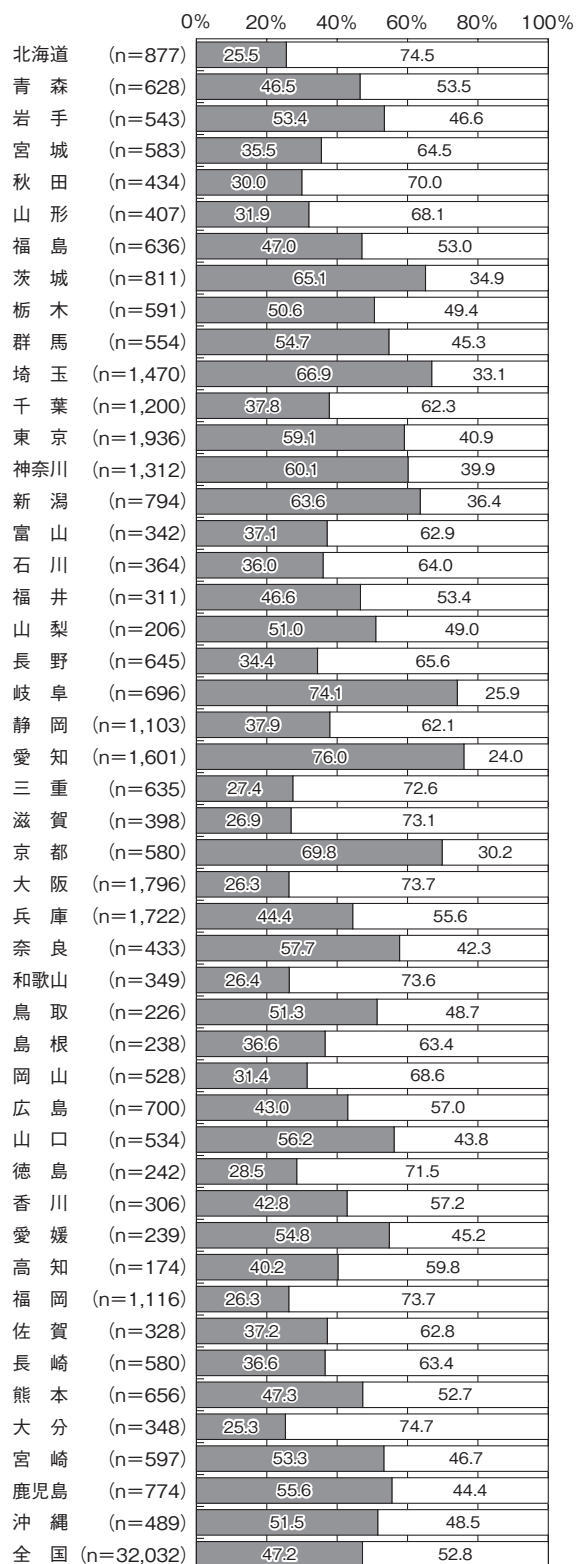
A-6 主にどのような測定器を用いて行いましたか。



B-1 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用している場合は、浮遊粉じんと気流の定期検査を行わなくてはならないことを知っていますか。

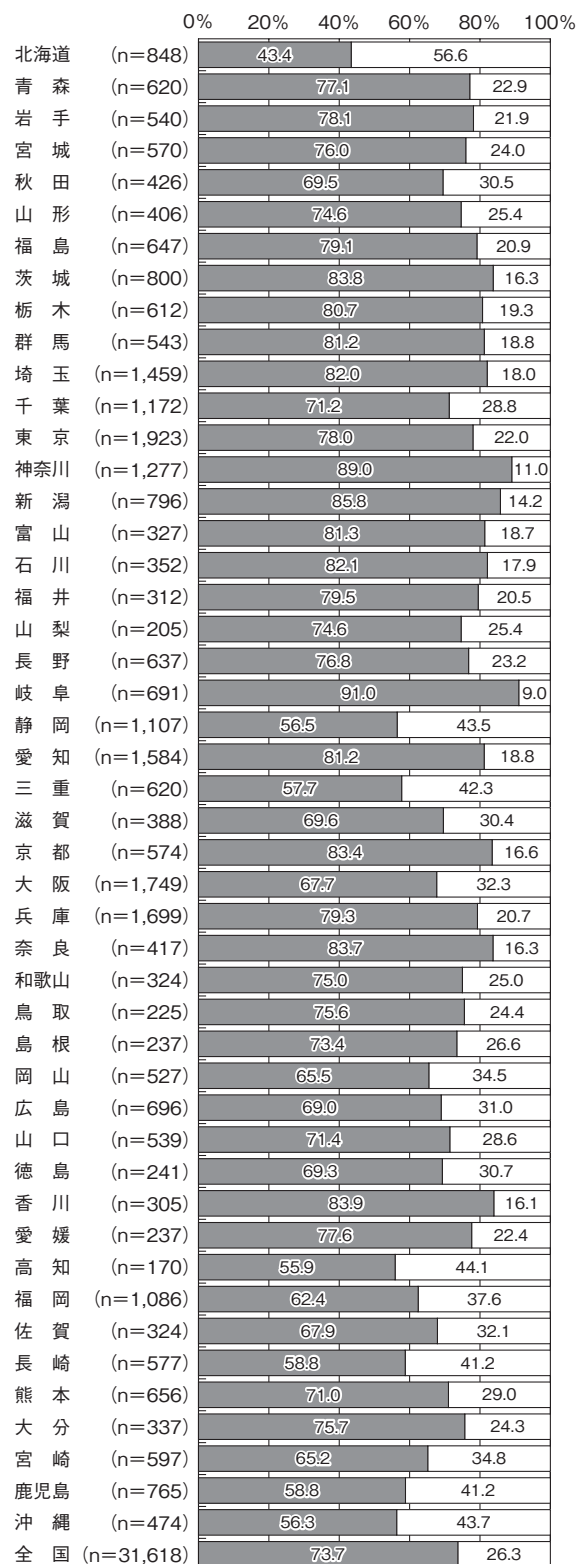


B-2 浮遊粉じんの検査の結果が著しく基準値を下回る場合は、次回から検査を省略することができることを知っていますか。



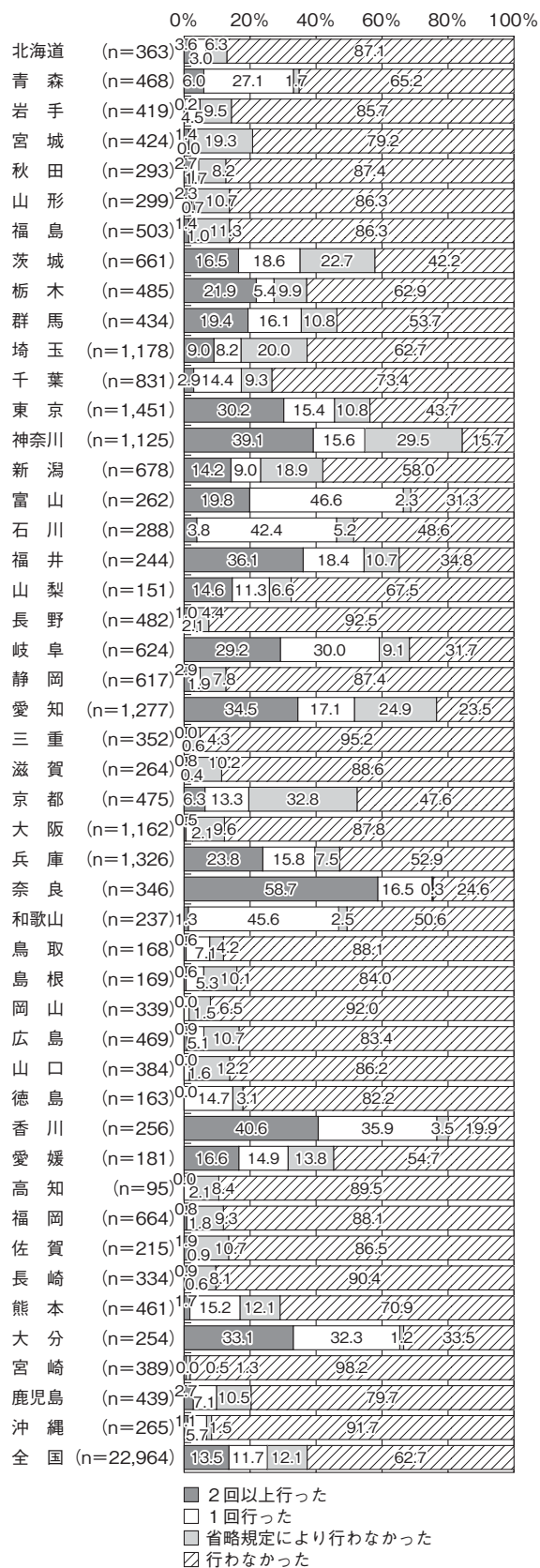
■ 知っている
□ 知らなかった

B-3 温度、湿度又は流量を調節する設備を使用していますか。(注：ファンヒーターも含まれます)

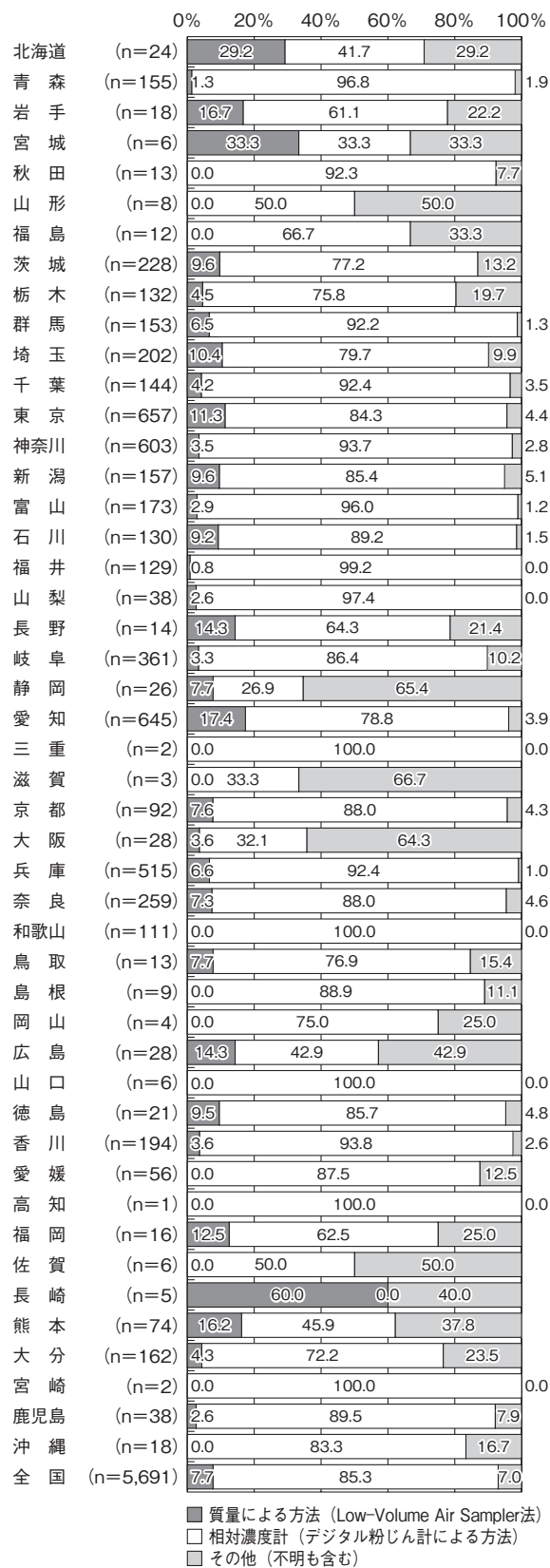


■ 使用している
□ 使用していない

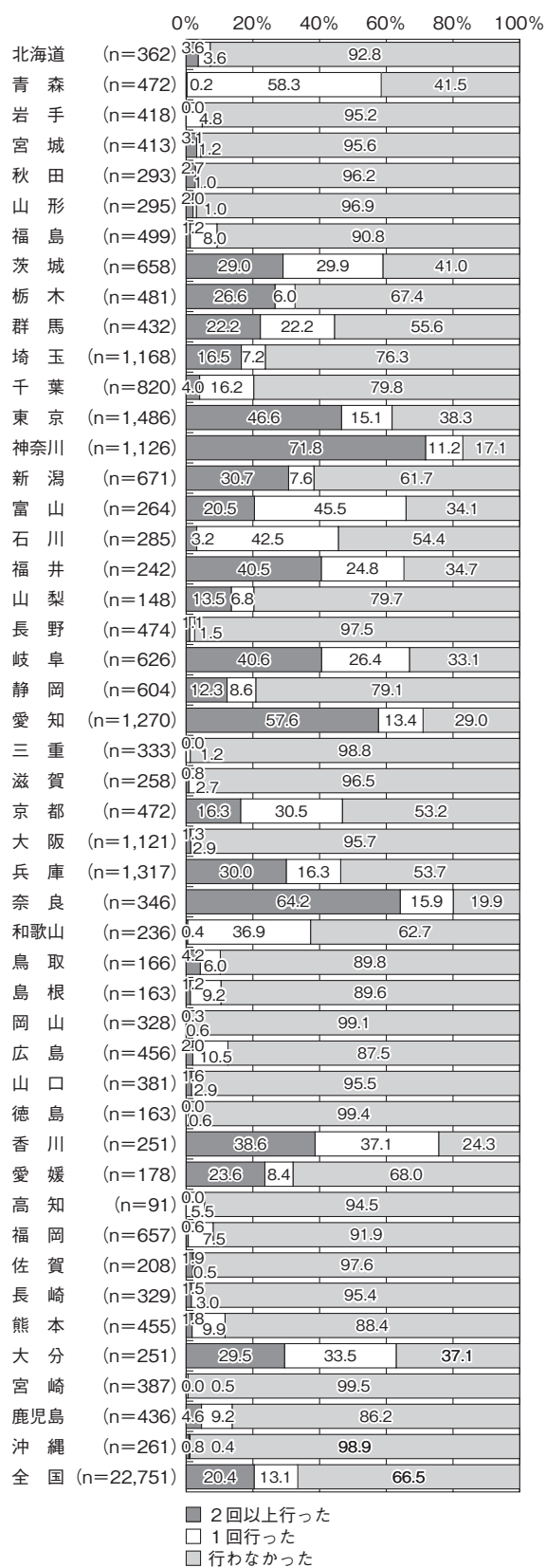
B-4 浮遊粉じんの検査を何回行いましたか。



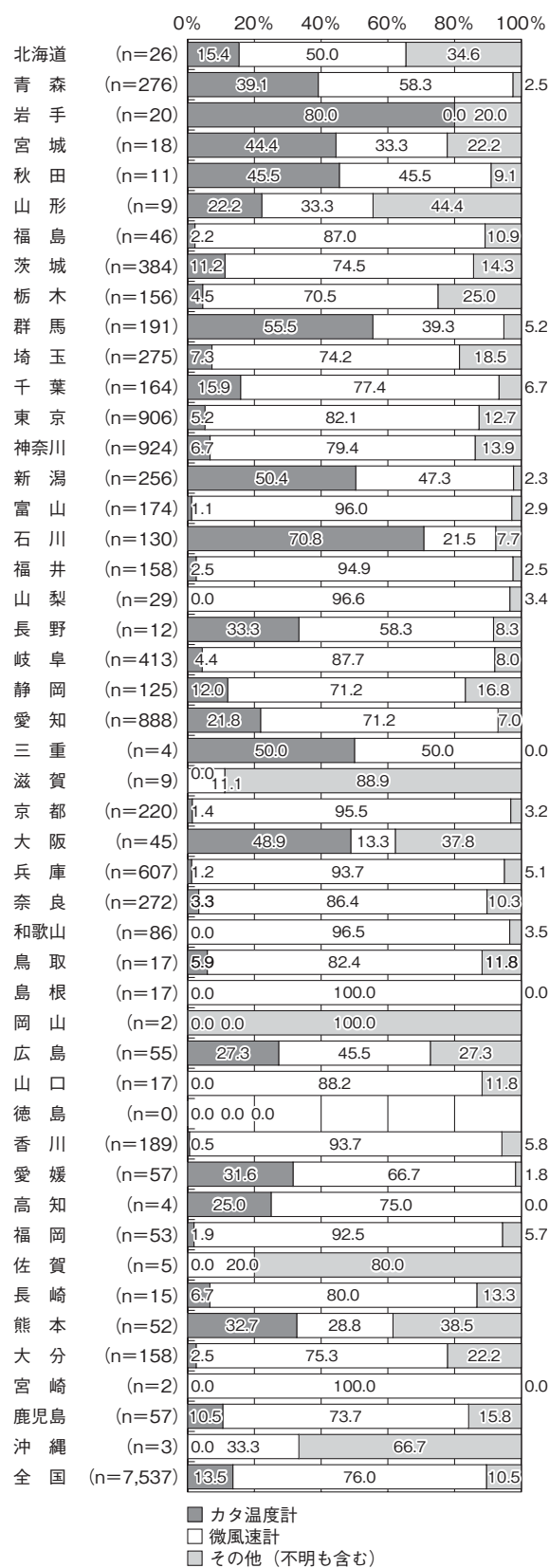
B-5 浮遊粉じんの検査は、主にどのような方法で行いましたか。



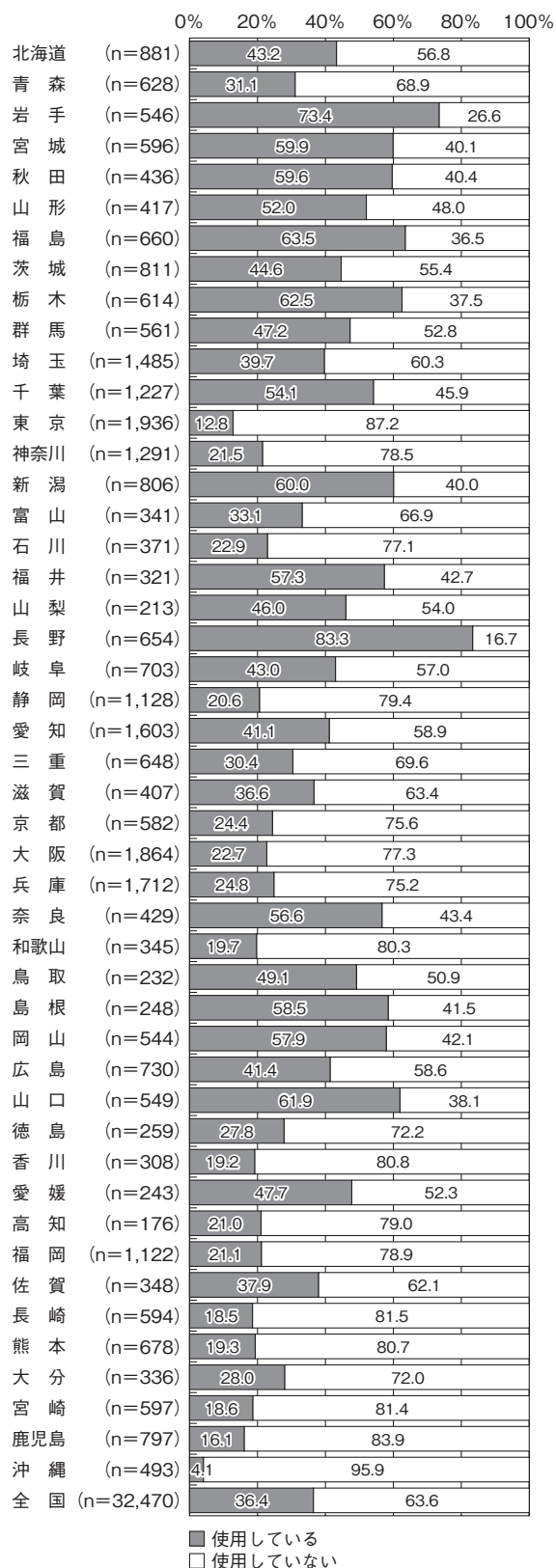
B-6 気流の検査を何回行いましたか。



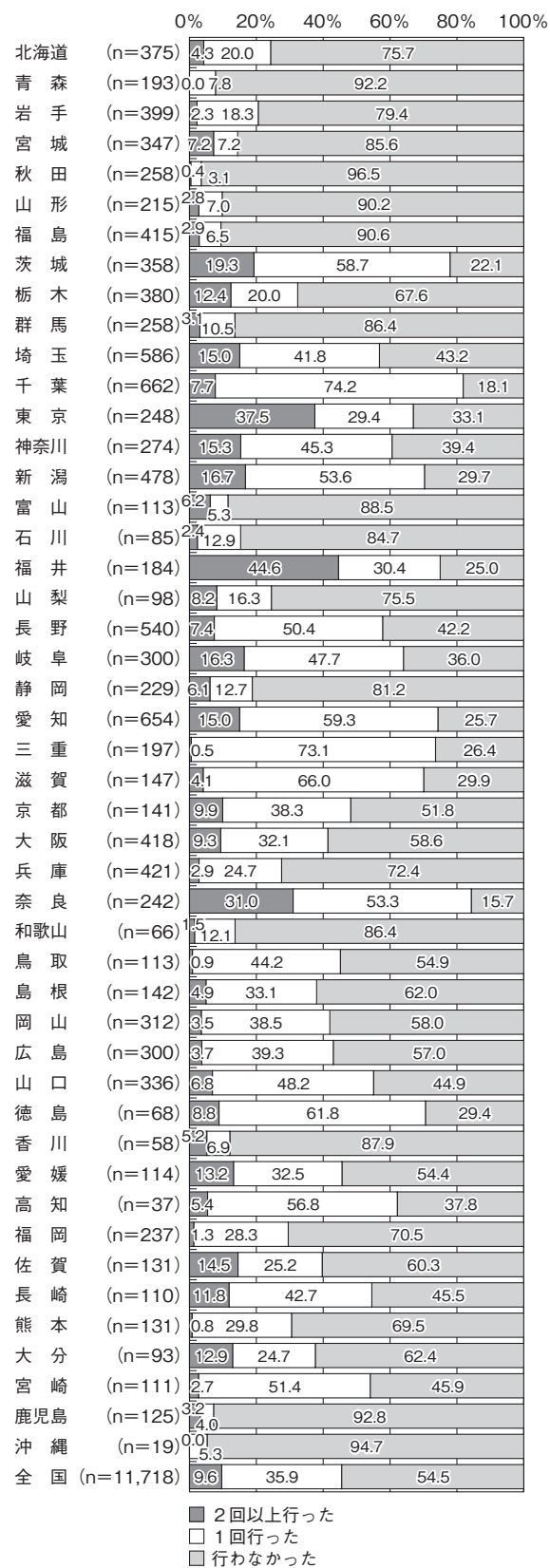
B-7 気流の検査は、主にどのような方法で行いましたか。



C-1 燃焼器具を使用していますか。



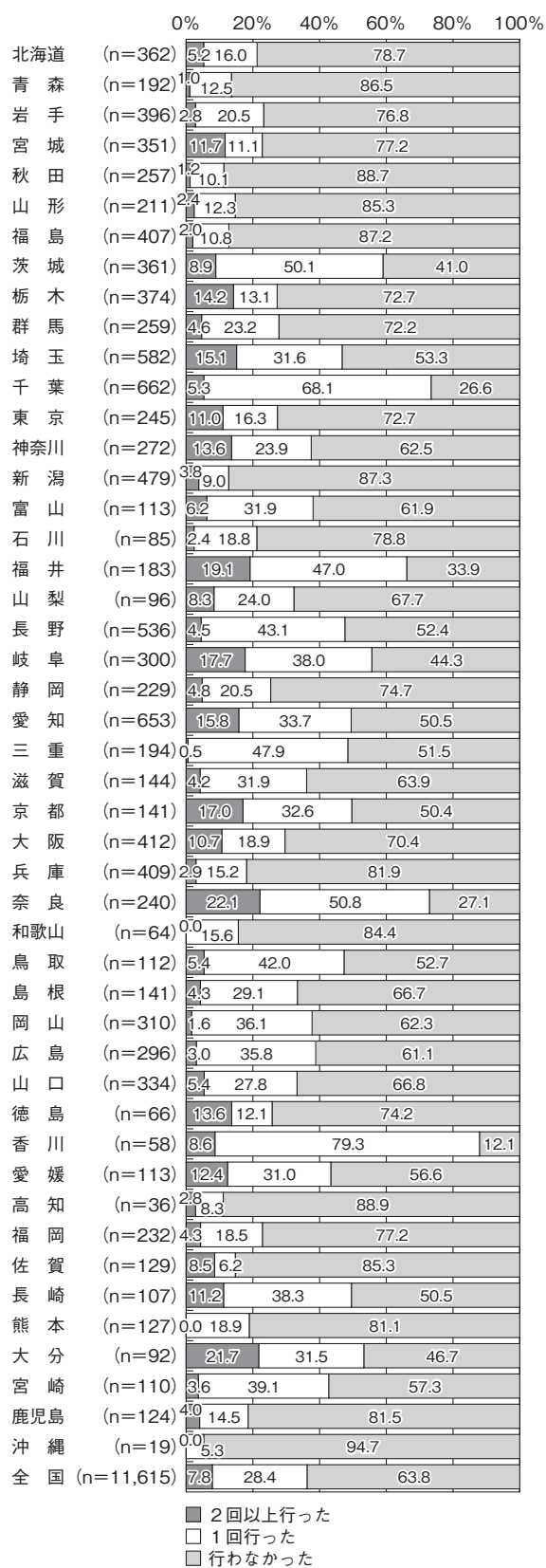
C-2 一酸化炭素の検査を何回行いましたか。



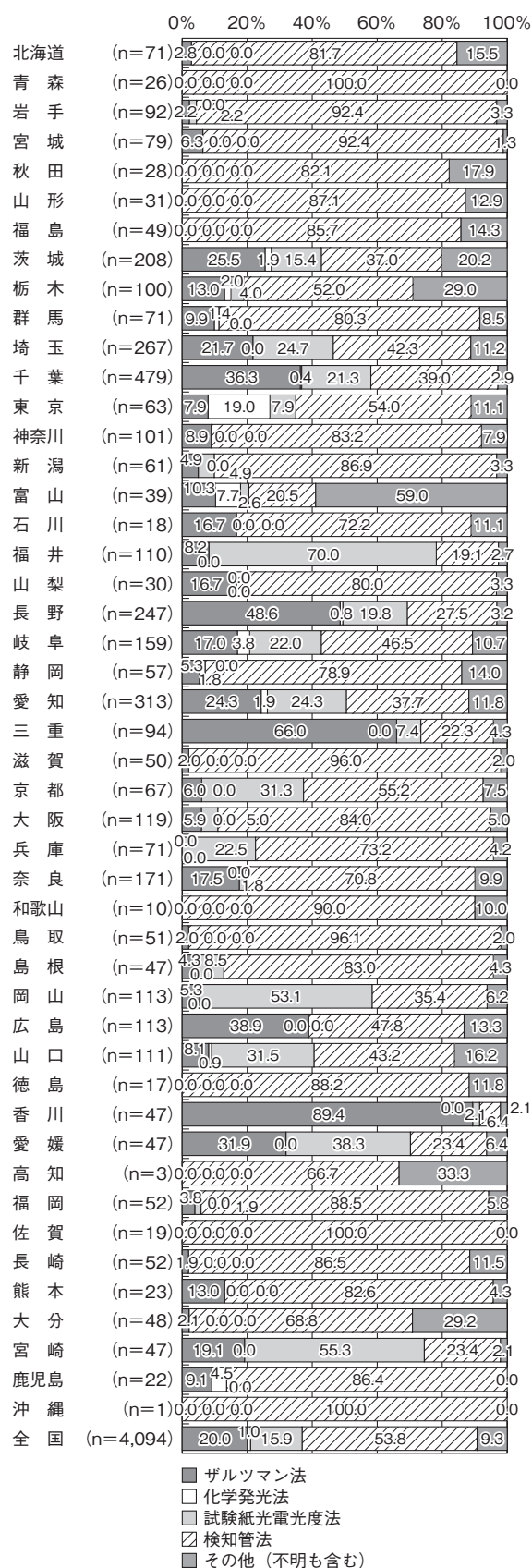
C-3 主にどのような方法で行いましたか。

	1. 検知管法	2. 非分散形赤外線吸収法	3. 定電位電解法	4. 水素炎イオン化検出法(FID)	5. 接触燃焼法	6. その他(不明も含む)
北海道(n=90)	86.7	0.0	4.4	0.0	0.0	8.9
青森(n=15)	93.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
岩手(n=82)	96.3	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
宮城(n=49)	95.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1
秋田(n=8)	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
山形(n=20)	75.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0
福島(n=38)	68.4	2.6	5.3	0.0	0.0	23.7
茨城(n=275)	80.7	6.5	1.1	0.7	0.0	10.9
栃木(n=123)	73.2	2.4	3.3	0.0	0.0	21.1
群馬(n=35)	88.6	2.9	2.9	0.0	0.0	5.7
埼玉(n=331)	94.0	0.9	0.6	0.0	0.0	4.5
千葉(n=536)	98.5	0.2	0.0	0.0	0.0	1.3
東京(n=166)	90.4	6.0	0.0	0.0	0.0	3.6
神奈川(n=163)	81.0	5.5	6.7	0.0	0.0	6.7
新潟(n=335)	98.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
富山(n=12)	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
石川(n=13)	84.6	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
福井(n=132)	97.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
山梨(n=23)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野(n=310)	95.8	1.6	0.0	0.0	0.0	2.6
岐阜(n=190)	96.8	0.5	0.0	0.0	0.0	2.6
静岡(n=41)	85.4	2.4	0.0	0.0	0.0	12.2
愛知(n=484)	96.1	0.4	1.2	0.0	0.0	2.3
三重(n=145)	97.2	0.7	0.0	0.0	0.0	2.1
滋賀(n=102)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
京都(n=68)	98.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
大阪(n=171)	98.2	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
兵庫(n=114)	97.4	0.9	0.0	0.0	0.0	1.8
奈良(n=203)	88.7	0.0	9.9	0.0	0.0	1.5
和歌山(n=9)	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
鳥取(n=51)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
島根(n=54)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岡山(n=128)	96.1	0.8	0.0	0.0	0.0	3.1
広島(n=125)	92.8	0.8	1.6	0.0	0.0	4.8
山口(n=183)	97.8	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
徳島(n=48)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
香川(n=6)	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
愛媛(n=52)	78.8	1.9	0.0	0.0	0.0	19.2
高知(n=23)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福岡(n=69)	94.2	0.0	0.0	1.4	0.0	4.3
佐賀(n=52)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長崎(n=60)	98.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7
熊本(n=40)	92.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
大分(n=34)	64.7	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3
宮崎(n=59)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鹿児島(n=8)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖縄(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全国(n=5,276)	93.5	1.3	1.1	0.1	0.0	4.0

C-4 二酸化窒素の検査を何回行いましたか。



C-5 主にどのような方法で行いましたか。



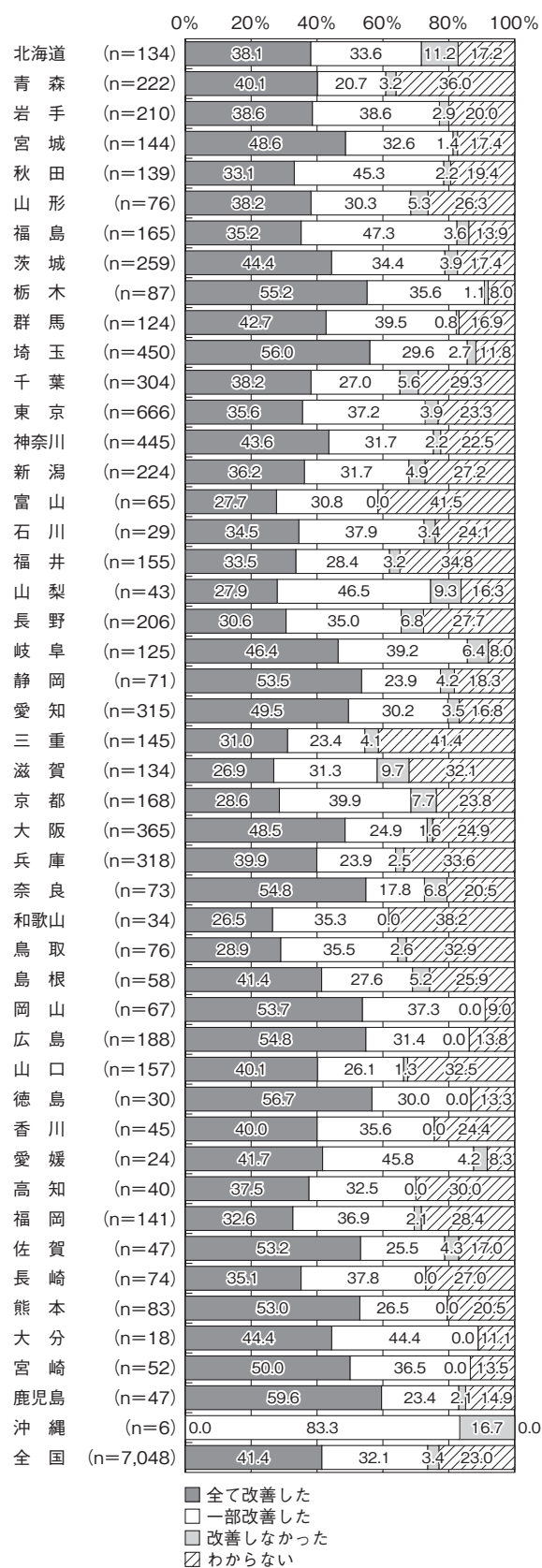
D-1 以下の項目で、不適合項目はありましたか。(複数回答可)

	1. 二酸化炭素	2. 温度	3. 相対湿度	4. 浮遊粉じん	5. 気流	6. 一酸化炭素	7. 二酸化窒素	8. 不適合なし
北海道(n=507)	26.8	4.9	4.5	0.8	0.6	1.0	1.2	70.2
青 森(n=523)	43.2	5.9	6.1	1.7	0.8	0.0	0.2	56.2
岩 手(n=490)	41.8	4.5	5.1	0.2	0.0	0.4	0.8	56.3
宮 城(n=550)	26.5	3.1	2.4	0.4	0.4	0.4	0.5	72.4
秋 田(n=355)	38.6	4.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.3	60.3
山 形(n=295)	25.8	5.4	6.1	0.3	0.3	0.3	0.7	72.9
福 島(n=480)	36.0	6.7	3.5	0.2	0.4	0.6	0.6	63.3
茨 城(n=713)	33.0	5.0	4.3	1.7	3.5	1.5	5.6	63.3
栃 木(n=400)	22.0	8.5	4.0	1.5	1.8	1.3	2.8	75.3
群 馬(n=386)	30.6	10.4	6.7	1.8	4.7	0.8	2.8	66.6
埼 玉(n=1,272)	33.8	4.6	4.4	0.6	0.6	0.6	2.3	63.6
千 葉(n=1,073)	28.0	3.4	2.1	0.3	0.7	3.1	5.9	70.5
東 京(n=1,879)	34.0	6.6	6.0	0.9	1.2	0.5	0.7	63.8
神奈川(n=1,195)	34.6	7.1	5.9	1.1	2.3	0.6	0.3	61.8
新 潟(n=752)	31.0	4.5	5.7	1.3	1.2	0.5	0.0	69.8
富 山(n=255)	26.3	5.9	7.1	6.3	5.1	0.4	2.7	74.1
石 川(n=211)	16.1	5.2	3.3	0.9	0.5	0.0	0.0	85.3
福 井(n=267)	52.8	8.6	3.4	3.7	1.9	3.0	7.5	39.7
山 梨(n=169)	23.7	5.9	4.1	0.6	0.6	0.0	0.6	72.8
長 野(n=554)	36.8	5.6	2.7	0.2	0.2	1.1	2.5	61.2
岐 阜(n=631)	17.7	4.1	2.7	1.4	2.4	1.0	4.1	79.2
静 岡(n=856)	7.9	3.9	2.2	0.6	0.8	0.4	0.7	90.3
愛 知(n=1,552)	18.0	5.5	3.0	1.4	1.7	1.4	2.7	79.0
三 重(n=478)	30.3	3.3	2.9	0.0	0.0	1.7	3.8	69.0
滋 賀(n=362)	34.8	7.7	4.1	0.0	0.0	1.7	3.6	61.9
京 都(n=511)	31.1	4.7	2.7	0.2	0.2	0.2	1.6	66.3
大 阪(n=1,609)	22.2	7.9	5.0	0.2	0.4	0.7	0.7	75.9
兵 庫(n=1,438)	20.4	7.3	2.6	0.9	1.0	0.6	0.8	76.9
奈 良(n=365)	19.2	1.4	0.8	0.8	1.1	0.8	4.7	80.0
和歌山(n=171)	17.0	7.0	6.4	4.1	2.3	0.0	2.3	78.4
鳥 取(n=198)	39.4	3.0	1.5	2.5	2.5	1.0	3.5	58.1
鳥 根(n=165)	33.3	6.1	2.4	0.0	0.6	1.2	4.2	61.8
岡 山(n=319)	22.6	5.0	3.1	0.0	0.3	3.4	5.3	77.1
広 島(n=587)	33.4	6.6	1.9	0.3	0.5	1.7	0.9	66.6
山 口(n=491)	29.1	8.1	2.2	0.0	0.0	2.2	3.1	67.4
徳 島(n=176)	17.0	0.6	1.1	0.0	0.0	0.6	0.0	83.0
香 川(n=272)	15.1	1.8	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	82.4
愛 媛(n=185)	15.7	2.7	0.5	1.1	1.1	0.5	2.2	84.3
高 知(n=115)	29.6	8.7	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3
福 岡(n=592)	20.8	6.4	2.4	0.0	0.0	0.5	3.4	75.7
佐 賀(n=191)	23.0	3.7	2.1	1.0	0.0	0.0	0.5	75.4
長 崎(n=459)	16.1	5.0	2.8	0.0	0.0	0.4	0.4	82.4
熊 本(n=403)	19.9	4.2	2.0	1.2	0.5	0.2	0.0	77.7
大 分(n=220)	10.9	5.0	1.8	4.1	1.8	0.5	0.9	89.1
宮 崎(n=492)	9.1	3.7	2.2	0.0	0.0	0.2	1.6	88.6
鹿児島(n=474)	8.9	2.1	1.1	0.4	0.2	0.6	0.6	89.9
沖 縄(n=96)	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7
全 国(n=25,734)	26.4	5.5	3.6	0.8	1.0	0.9	1.9	71.5

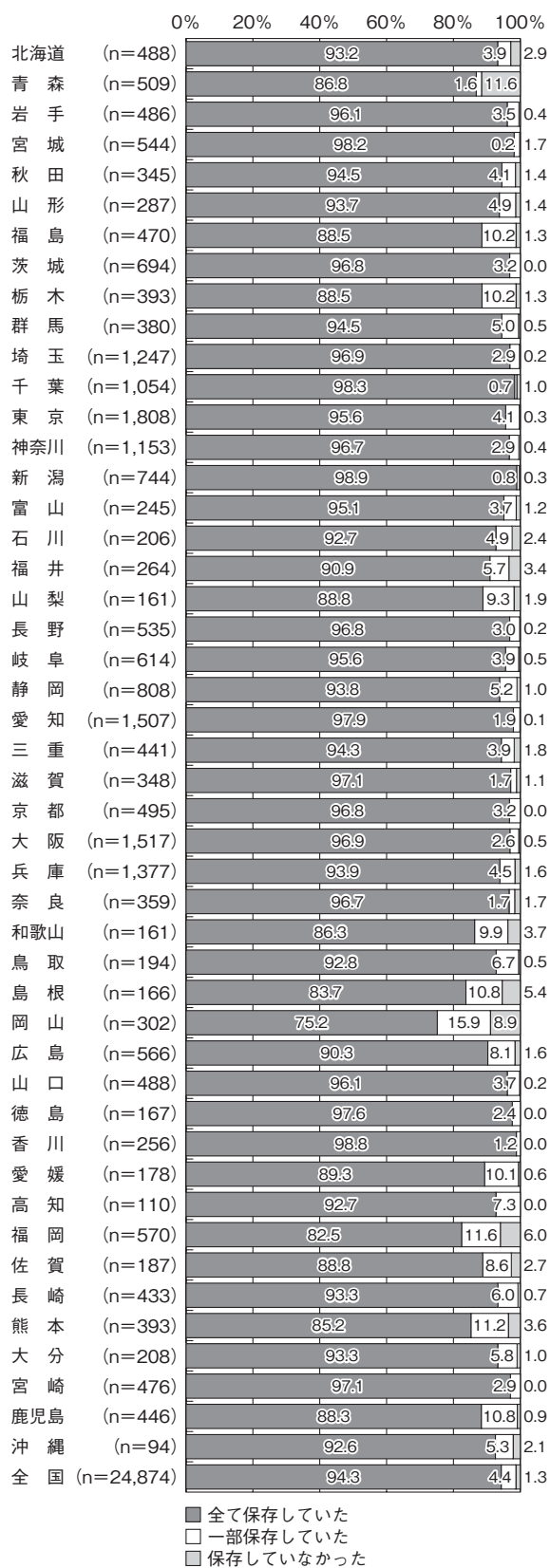
D-2 不適合項目について、指導・助言を行いましたか。



D-3 指導・助言によって改善しましたか。



D-4 本校で検査結果の記録を保存していましたか。(基準：5年間保存)



E-1 以下の項目について点検を行いましたか。(複数回答可)

	1. 不快な刺激や臭気の有無	2. 換気の実施状況	3. 温度	4. 行わなかった
北海道(n=931)	38.0	50.6	49.8	37.9
青 森(n=634)	61.0	74.9	72.9	16.7
岩 手(n=553)	59.0	70.2	73.8	15.9
宮 城(n=609)	62.1	86.2	81.4	5.9
秋 田(n=443)	62.8	79.7	70.0	12.9
山 形(n=420)	54.3	76.0	73.1	15.7
福 島(n=671)	60.4	73.3	81.7	11.8
茨 城(n=811)	51.8	75.0	74.1	14.1
栃 木(n=613)	58.7	78.3	72.4	12.2
群 馬(n=572)	63.5	76.4	78.5	14.3
埼 玉(n=1,487)	61.4	77.1	74.6	12.6
千 葉(n=1,213)	55.2	75.4	73.7	15.3
東 京(n=1,991)	49.8	70.9	60.7	21.5
神奈川(n=1,287)	49.2	65.7	57.6	26.3
新 潟(n=803)	57.0	70.6	67.2	20.5
富 山(n=344)	57.3	68.9	71.5	17.2
石 川(n=383)	45.4	62.1	59.0	28.5
福 井(n=318)	48.7	65.4	69.5	19.2
山 梨(n=210)	54.3	73.8	57.1	19.0
長 野(n=660)	51.7	65.6	66.5	21.1
岐 阜(n=705)	70.2	81.4	80.4	9.9
静 岡(n=1,148)	50.1	71.6	64.8	18.6
愛 知(n=1,580)	59.2	77.7	76.1	11.8
三 重(n=647)	44.0	60.4	55.8	29.8
滋 賀(n=392)	49.0	60.7	60.5	27.8
京 都(n=581)	47.2	63.0	59.7	22.9
大 阪(n=1,890)	48.3	67.4	60.5	24.1
兵 庫(n=1,713)	45.1	68.5	64.9	22.0
奈 良(n=428)	51.2	73.6	67.8	19.6
和歌山(n=370)	37.0	56.5	49.2	36.5
鳥 取(n=228)	46.9	74.6	68.0	18.0
島 根(n=251)	55.0	68.5	74.9	15.9
岡 山(n=551)	50.5	65.3	65.7	23.4
広 島(n=739)	50.9	76.2	65.6	16.5
山 口(n=549)	57.7	69.4	78.9	7.7
徳 島(n=271)	53.9	65.3	56.1	24.0
香 川(n=304)	55.6	68.4	68.4	20.4
愛 媛(n=245)	51.4	69.0	75.1	15.5
高 知(n=174)	52.3	56.3	47.1	21.3
福 岡(n=1,159)	38.6	59.4	51.2	32.4
佐 賀(n=361)	50.4	63.4	60.7	24.7
長 崎(n=587)	45.8	70.7	72.1	15.8
熊 本(n=672)	63.5	76.3	71.4	13.5
大 分(n=355)	55.5	63.1	59.4	27.0
宮 崎(n=598)	80.3	81.6	88.1	5.7
鹿児島(n=808)	60.5	65.0	76.1	14.2
沖 縄(n=493)	50.3	52.7	48.9	27.8
全 国(n=32,752)	53.2	70.0	67.1	19.3

Ｅ－２ 本校で日常点検結果の記録を保存していましたか。（基準：３年間保存するよう努める）

